

2025年度

松永ポンプ場ポンプ増設工事(場内整備工事)実施設計書

福山市松永町五丁目及び松永町六丁目地内

建設リサイクル法対象工事

工 事 概 要	場内整備工	—	式
	門扉工	N=	4 基
	フェンス工	L=	32 m
	管基礎工	—	式
	仮設工	—	式
	付帯工	—	式
	アスファルト舗装工	A=	254 m2

特 記 仕 様 書

第1章 総則

第1節 適用

1. 本特記仕様書は、福山市上下水道局施設部施設整備課の発注する工事に適用する。

第2節 留意事項

1. 本特記仕様書に記載のない事項については、「福山市工事請負契約約款（契約書を含む）」、「設計図書（別冊図面、仕様書、現場説明書及び現場説明に対する質問回答書を用いる）」、「福山市上下水道局建設工事施行規程」、「福山市上下水道局工事検査技術基準」、「福山市下水道構造標準図」、「下水道土木工事共通仕様書(案)-2021年版-〔(公社)日本下水道協会〕」、「広島県土木工事共通仕様書（令和7年8月）」、その他関係規則によるものとする。
2. 施工にあたり、日本国の関係諸法令、諸官公庁の通達、施工に関する協定事項等を遵守し、諸官公署への届出及び許可等の手続きを速やかに行ない、監督員に報告すること。
3. 施工にあたり、必要な事項及び固有の条件等は、この特記仕様書によるもののほか、別紙、施工条件表のとおりとする。なお、施工条件に変更が生じた場合は、監督員と協議すること。
4. 契約約款第3条に基づき、契約締結後14日以内に工程表を作成し、提出すること。
5. 着工前に地元関係者と本工事の施工方法等について、十分に打合せ等を行い理解を得て円滑に工事が完成するよう努めること。
6. 工事開始日以降40日以内に着手すること。
7. 本工事は、法定外の労災保険契約の保険料を見込んでいる。

第3節 事業損失防止

1. 施工に伴い通常避けることができない地盤沈下、振動等を原因として生じた、建物等の損害等の補償に関しては、「福山市上下水道局建設工事損失補償事務特記仕様書」によるものとする。
2. 発注者が近接する建物等の調査を実施する場合は、受注者は発注者の行う調査の範囲を把握し、近接する区間の施工には、細心の注意をはらい施工すること。
3. 発注者が調査を実施しない建物等について、受注者は必要に応じて事前に建物等の調査を実施すること。なお、調査箇所等を変更をする必要がある場合は、別途、協議すること。
4. 事業損失が発生する可能性があるときは、監督員と協議すること。

第4節 主任（監理）技術者の配置等

1. 主任（監理）技術者の専任期間等
専任が義務付けられた工事に配置される技術者の専任期間について、次に掲げる場合で、打合せ簿等により、その旨を明確にしたときは専任を要しないものとする。なお、工期の終期が到来する前に工事完成検査が終了した場合の配置期間は、引渡しを受けた日までとする。
①契約書上の工期の始期から現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入または仮設工事等が開始されるまでの間）
②工事用地等の確保が完了、自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により、工事を全面的に一時中止している期間
③橋梁、ポンプ、ゲート、エレベーター等の工場製作を含む工事であって、工場製作のみが行われている期間
なお、工場製作の過程を含む工事の工場製作過程においても、建設工事を適正に施工するため、主任（監理）技術者がこれを管理する必要があるが、当該工場製作過程において、同一工場内で他の同種工事に係る製作と一元的な管理体制のもとで製作を行うことが可能である場合は、同一の主任（監理）技術者がこれらの製作を一括して管理することができる。
④工事完成後、検査が終了し、事務手続きなどの残務があり、引渡しを受けるまでの期間
2. 主任（監理）技術者の変更の特例
次に掲げる場合で、打合せ簿等により、その旨を明確にしたときは、主任（監理）技術者の変更ができるものとする。
①技術者の死亡、傷病、出産、育児、介護による就業不能、または退職等の真にやむを得ない理由により交代が必要と認められるとき
②受注者の責によらない理由により工事中止または工事内容の大幅な変更が発生し工期が延長されたとき
③橋梁、ポンプ、ゲート、エレベーター等の工場製作を含む工事であって、工場から現地へ工事の現場が移行する時点
なお、いずれの場合も発注者と受注者との協議により、交代の時期は工程上一定の区切りと認められる時点とするほか、交代前後における主任（監理）技術者の技術力が同等以上に確保されとともに、工事の規模、難易度等に応じ一定期間重複して工事現場に設置するなど、工事の継続性、品質確保等に支障がないと認められることが必要である。

第2章 施工

第1節 安全対策

1. 片側交互通行及び通行止め等の交通制限を行う場合は、関係官公署の許可条件を遵守し、安全かつ円滑な交通を確保して事故発生のないように努めること。
2. 作業現場、作業用地内の整理整頓に留意して必要な安全施設の設置等を行い、関係者以外の立入りを禁止して危険防止に努めること。
3. 路面の補修及び転落防止対策に努めるなど、交通及び保安上の十分な措置を講じること。
4. 作業時間外（夜間等）に交通制限を行う場合は、その範囲を最小限とし夜間の保安施設は注意灯、回転灯及び防護柵等を設置して十分に配慮すること。
5. 施工に伴い事故が発生した場合は、迅速に所要の措置を講じるとともに、事故発生の原因及び経過、並びに事故による被害の内容等について、速やかに「事故等速報」等により、監督員に報告すること。

第2節 現道工事における保安施設

1. 保安施設は、「広島県土木工事共通仕様書」による現道工事における保安施設設置図（案）及び保安施設設置基準を基本とし、現場条件等に応じ適切に実施すること。ただし、「工事表示板」及び「工事情報看板」、「工事説明看板」、「まわり道案内表示板」の標準様式については、次のとおりとする。
2. 保安施設のうち工事情報看板的設置時期については、工事現場周辺の住民及び道路利用者等に十分周知の図れるよう事前に設置すること。また、その他の保安施設の設置時期は、現場着手にあわせて適切な時期に設置すること。
3. 作業休止中（休日等）で通行に支障のない場合は、作業のないことの周知が図れるように標識等を撤去またはシート等でかくす等、措置すること。
4. 施工に伴い止むを得ず路面に段差が生じた状態で交通開放する場合は、通行者に周知が図れるよう警戒看板等を設置するとともに、通行者の安全に十分配慮すること。
5. 台風等により暴風雨等が予測される場合は、保安施設（工事看板等）が頑丈に固定されていることを確認するとともに、設置場所等の状況によっては、一時撤去し、飛散しないように最善の策を講ずること。
6. 「工事表示板」、「工事情報看板」、「工事説明看板」、「まわり道案内表示板」の標準様式については、次のとおりとする。なお、看板の寸法は、現場条件等に応じて適切な大きさとすること。



第3節 交通誘導警備員

1. 交通誘導警備員を配置するにあたって、安全かつ円滑な交通が確保できるよう状況を十分に把握し、現場条件に応じた適正人員の確保及び配置を行うこと。また、交通誘導警備員に対して、現場条件に関する教育等を行なうこと。
2. 受注者は工事現場の交通状況を十分に把握し、交通誘導警備員の休憩、休息時間において交通誘導警備員が必要な場合は、監督員と協議を行って交替要員を配置するものとし、必要と認められる場合は契約変更できるものとする。
3. 交通誘導警備員の積上げ人数は、交通誘導の対象となる施工量に対し、作業日当日標準作業量から必要な人数を見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き、施工実績等による交通誘導警備員の積み上げ人数の増員に対する変更は行なわない。また、工事実績の交通誘導警備員が減となった場合は、実績数量により変更を行なう。ただし、交通誘導警備員の対象となる施工量に増減等が生じた場合はこの限りでない。
4. 交通誘導警備員Aとは、警備業者の警備員（警備業法第2条第4項に規定する警備員をいう。）で、交通誘導警備業務（警備員等の検定等に関する規則第1条第4項に規定する交通誘導警備業務をいう。）に従事する交通誘導警備業務に係る一級検定合格警備員又は二級検定合格警備員をいう。
5. 交通誘導警備員Bとは、警備業者の警備員で、交通誘導警備員A以外の交通の誘導に従事するものをいう。
6. 「警備員等の検定等に関する規則」により、広島県公安委員会から認定告示（2020年10月1日広島県公安委員会告示第73号）のあった路線に係る交通誘導を実施する場合については、交通誘導警備員Aを誘導員あたり1名以上配置すること。

第4節 管路及びマンホール

- 1. 下水道用硬質塩化ビニル管は、JSWAS〔K－1〕（日本下水道協会）の規格によるものとする。また、その取扱い及び施工は、同規格書の〔参考資料3〕「硬質塩化ビニル管の施工標準」及び「下水道土木工事共通仕様書（案）」に基づき適切に実施すること。
- 2. 下水道用鉄筋コンクリート製円形マンホールは、JSWAS〔A－11〕（日本下水道協会）規格製品とする。また、その取扱い及び施工は、JSWAS〔A－11〕（日本下水道協会）による〔参考資料1〕「設計及び施工上の留意点」及び「下水道土木工事共通仕様書（案）」に基づき適切に実施すること。
- 3. 下水道用鑄鉄製マンホールふたは、「福山市型鑄鉄製マンホールふた（標準）仕様書」、「福山市型鑄鉄製マンホールふた（高機能）仕様書」に基づき製作され、本局が承認した製品とする。また、その取扱い及び施工は、JSWAS〔G－4〕（日本下水道協会）による〔参考資料2〕「鑄鉄製マンホールふたの施工上の留意事項」及び「下水道土木工事共通仕様書（案）」に基づき適切に実施すること。
- 4. 下水道用硬質塩化ビニル製小型マンホールは、JSWAS〔K－9〕（日本下水道協会）の規格によるものとする。また、その取扱い及び施工は、同規格書の〔参考資料2〕「硬質塩化ビニル製小型マンホールの施工標準」及び「下水道土木工事共通仕様書（案）」に基づき適切に実施すること。
- 5. 下水道用鑄鉄製防護ふたは、「福山市型鑄鉄製防護ふた仕様書」に基づき製作され、本局が承認した製品とする。また、その取扱い及び施工は、JSWAS〔G－3〕（日本下水道協会）による〔参考資料1〕「鑄鉄製防護ふたの施工上の留意点」及び「下水道土木工事共通仕様書（案）」に基づき適切に実施すること。
- 6. 下水道推進工法用硬質塩化ビニル管は、JSWAS〔K－6〕（日本下水道協会）の規格によるものとする。また、その取扱い及び施工は、同規格書の〔参考資料4〕「施工上の留意点」及び「下水道土木工事共通仕様書（案）」に基づき適切に実施すること。
- 7. 下水道小口径管推進工法用鉄筋コンクリート管は、JSWAS〔A－6〕（日本下水道協会）の規格によるものとする。また、その取扱い及び施工は、同規格書の〔参考資料4〕「管の取り扱い及び管路の構成」及び「下水道土木工事共通仕様書（案）」に基づき適切に実施すること。

第5節 現場管理

- 1. 土留工の施工は、地盤変動に留意して適切に設置撤去すること。また、設置撤去の不良により地下埋設物、通行者及び隣接物等に損害を与えた場合は、受注者の責任により速やかに対処すること。
- 2. 埋戻工の施工は、十分な締固めを行うこと。また、埋戻し及び締固めの不良により地下埋設物、通行者及び隣接物等に損害を与えた場合は、受注者の責任により速やかに対処すること。
- 3. 施工方法、建設機械の騒音及び振動の大きさ、発生実態、発生機構等について十分理解し、工事現場及び現場周辺の状況に留意して施工すること。
- 4. 施工に伴い通常避けることができない損害等の発生が予見されるときは、速やかに監督員に協議すること。
- 5. 小黑板情報電子化対応ソフトウェアを使用する場合は、「土木工事共通仕様書（広島版）」に従い、工事契約後に監督員の承諾を得たうえで、使用する機器・ソフトウェア等について工事着手までに提出すること。また、工事完成時に小黑板情報の電子的記入を行った写真の信憑性確認を行い、その結果を監督員へ提出すること。

第6節 地下埋設物

- 1. 工事着手前には、地下埋設物及び地下構造物の調査を行うとともに、当該管理者に立会を求めてその位置を確認し、管理者の指示を遵守して埋設物及び構造物に損害を与えないよう注意して施工すること。
- 2. 必要に応じて試掘を実施し、その位置を確認すること。また、当該管理者との協議及び試掘の結果を発注者へ提出すること。

第7節 環境対策

- 1. 施工に伴う騒音、振動、大気汚染、水質汚濁等について、関係法令及び仕様書の規定を遵守の上、周辺地域の環境保全に努めるものとする。また、施工計画及び工事実施の各段階において十分検討して必要な措置を講じること。
- 2. 受注者は、大気汚染防止法に基づき本工事が特定工事に該当するかについて、事前調査（設計図書その他の書面による調査、特定建築材料の有無の目視による調査等）を行いその結果を監督員に説明し、事前調査結果（受注者の名称、調査終了年月日、調査方法、調査結果等）を現場の公衆に見やすい場所に掲示すること。なお、掲示物の大きさは長さ42.0cm以上、幅29.7cm以上（A3用紙以上、縦長横長問わず）とする。また、監督員への説明書面の写し、及び事前調査の記録は、工事完了後3年間保存すること。
- 3. 資機材等の運搬にあたっては、運搬経路及び作業時間帯に留意すること。
- 4. 施工方法、建設機械の騒音及び振動の大きさ、発生実態、発生機構等について十分理解して、工事現場及び現場周辺の状況に留意すること。
- 5. 広島県土木工事共通仕様書（令和7年8月）『1-1-1-33 環境対策』で使用を義務付けている排出ガス対策型建設機械においては、第2次基準値以上の建設機械の使用に努めること。なお、使用する排出ガス対策型建設機械について、基準値による設計変更は行わない。

第8節 工事用地

- 1. 本工事に必要な現場事務所及び資材置場等の用地は、全て受注者の責任と負担において確保すること。

第9節 情報共有システムの利用

- 1. 情報共有システムとは、業務の効率化を図り、受発注者間の情報を電子的に交換・共有するものであり、本工事が対象であるかは施工条件表を参照すること。
- 2. 本工事で使用する情報共有システムは次とする。
広島県工事中情報共有システム <http://www.hdobokuk.or.jp/koujijyouhoushisutemu2.html>
- 3. 受注者は、情報共有システムの利用対象としないことを希望する場合は、契約後すみやかに発注者にその旨を協議し、承諾を得ること。
- 4. 受注者は、情報共有システムの利用に当たり、（一社）広島県土木協会に利用申込みを行い、利用料を支払うものとする。
- 5. 受注者は、情報共有システムの利用に当たり、「情報共有システム利用手引(土木工事)」に基づき運用すること。

第10節 週休2日適用工事

- 1. 週休2日適用工事は、持続可能な建設産業の実現に向けた労働環境の改善を目的とする工事であり、本工事が発注者指定対象であるかは、施工条件表を参照すること。
- 2. 「発注者指定型」とは、週休2日適用工事として発注者が指定するものをいう。
- 3. 「受注者希望型」とは、発注者が週休2日適用対象として発注者が指定した工事で、受注者が工事着手前に、発注者に対して週休2日適用工事として取りむ旨を申し出たものをいう。

第3章 材料

第1節 埋戻材（処理土）

- 1. 本工事に使用する購入土は、建設発生土処分先一覧表（広島県）に掲載された建設発生土リサイクルプラントが製造した処理土（改良土を含む。以下同じ。）を使用するものとする。積算にあたっては、運搬費と処理土購入費（工場渡し）の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き購入土に要する費用（単価）は変更しない。
- 2. 1により使用することとしている処理土について、何らかの事情によりその使用が困難である場合は、設計図書の内容について協議すること。
- 3. 使用する処理土がセメント及びセメント系固着材を使用した改良土の場合、「セメント及びセメント系固着材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領（案）」に基づき、建設発生土リサイクルプラントから試験結果の提示を受けるとともに、施工後に六価クロム溶出試験を実施し、試験結果（計量証明書）を提出するものとする。
- 4. 工事完了時には、計量伝票等及び試験結果等を提出すること。
- 5. 処理土は、次の要求品質を満足したものを監督員の確認を得て使用すること。

判定指標	基準値
最大粒径	50mm以下
コーン指数	800KN/㎡以上

第4章 建設副産物

第1節 建設発生土

- 1. 本工事により発生する建設発生土は、建設発生土処分先一覧表（広島県）に掲載されている建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地（一時的に積を含む。）のいずれかに搬出するものとする。
また、搬出先として、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地（一時的に積を含む。）を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。
なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、建設発生土処分先一覧表（広島県）に掲載されている建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地（一時的に積を含む。）への搬出が困難となった場合は協議するものとする。
- 2. 搬出先においては、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行なうとともに、計量伝票等を監督員に提出すること。

第2節 建設汚泥

- 1. 建設汚泥は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という）を遵守し、適正に処理しなければならない。
- 2. 建設汚泥は、広島県及び廃棄物処理法政令市が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設へ搬出し再資源化しなければならない。
- 3. 搬出先においては、許可看板と処分状況が確認できるよう、写真撮影を行なうとともに、伝票等を提出すること。また、必要に応じて現地確認、立入り調査等を行なうこと。
- 4. 再資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は、広島県及び廃棄物処理法政令市が廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設のうち受入条件が合うものの中から、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。

第3節 特定建設資材廃棄物（アスファルト塊、コンクリート塊等）

1. 特定建設資材廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という）を遵守し、適正に処理しなければならない。
2. 特定建設資材廃棄物は、広島県及び廃棄物処理法政令市が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設へ搬出し再資源化しなければならない。
3. 搬出先においては、許可看板と処分状況が確認できるよう、写真撮影を行なうとともに、伝票等を提出すること。また、必要に応じて現地確認、立入り調査等を行なうこと。
4. 再資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は、広島県及び廃棄物処理法政令市が廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設のうち受入条件が合うものの中から、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。

第4節 「広島県土砂の適正処理に関する条例」に係る届出及び許可

1. 土砂の搬出
建設発生土について、500m³以上（一時的な積場については500m³/月以上）の土砂を事業区域外へ搬出するときは、「広島県土砂の適正処理に関する条例」（平成16年広島県条例第1号、以下「広島県土砂条例」という。）第2章第8条に基づき、土砂の搬出に係る計画を定め、当該土砂の搬出を開始する日から起算して20日前（一時的な積場については、当該計画に係る月の初日の10日前）までに、福山市長へ届け出なければならない。
2. 埋立行為（埋立て、盛土、たい積）
建設発生土について、事業区域外において土砂埋立区域の面積が2,000m²以上となる土砂の埋立行為を行う場合は、土砂埋立区域ごとに福山市長の許可を受けなければならない。

第5節 産業廃棄物の場外保管

1. 本工事により発生する産業廃棄物を事業場の外（建設工事現場以外の場所）において300m²以上の面積で保管する場合には、保管場所を所管する都道府県知事に事前の届出を行うこと。また、届出事項を変更する場合は事前に変更届を、保管をやめたときは30日以内に廃止届を提出すること。
ただし、産業廃棄物処理業等の許可施設における保管は届出対象外とする。

第6節 再生資源利用計画

1. 受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

第5章 熱中症対策

本工事は、工事現場の熱中症対策に資する経費に関して、現場管理費の補正を行う工事である。

1. 工期（工事の始期日から工事の終期日までの期間で、準備期間、施工に必要な実日数、不稼働日及び後片付け期間の合計をいう。なお、検査期間14日間、年末年始6日間（12月29日～1月3日）、夏季休暇3日間（国民の祝日である山の日の次の日から土曜日、日曜日及び振替休日を除く3日間とする。）、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。）期間中の真夏日の状況に応じて、変更契約時に現場管理費の補正を行うものとする。
2. 真夏日とは、日最高気温が30度以上の日をいう。また、日最高暑さ指数（WBGT）が25度以上の日をいう。ただし、夜間工事の場合は、作業時間帯の最高気温又は最高暑さ指数（WBGT）を対象とする。
3. 気温の計測箇所及び結果は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温又は環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）を用いることを標準とする。
なお、本工事において、上記地上観測所及び観測地点は、「福山」とすることを標準とする。
4. 受注者は、工事期間中における気温の計測箇所、用いる計測値及び計測期間（計測開始日、計測終了予定日）を明記した施工計画書を工事着手前に提出し、計測結果を工事完成時までに監督員に提出すること。
5. 受注者は、計測終了日について、工事完成時までに監督員と協議するものとする。
6. 積算方法は次のとおりとする。
 - （1）補正方法
 - ア 受注者より提出された計測結果の資料を基に、補正値を算出し現場管理費率に加算する。ただし、現場管理費率の補正は、「積算寒冷地域で施工時期が冬期となる場合の補正」、「緊急工事の場合」及び本通知の補正値を合計し、2%を上限とする。
 - イ 真夏日率＝工期期間中の真夏日÷工期
 - ウ 補正値（%）＝真夏日率×1.2
 - （2）補正値の計算結果は、パーセント表示で小数点3位を四捨五入して2位止めとする。
7. 受注者より、熱中症対策に資する現場管理費の補正が不要である旨の協議があった場合は、補正を行う工事から対象外とすることが出来る。
8. 検査員から修補の指示があった場合、修補期間は対象外とする。

第6章 その他

1. 本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項、または、疑義が生じた場合は、その都度、速やかに監督員と協議を行なうこと。

施 工 条 件 表

対象工事名 : 松永ポンプ場ポンプ増設工事（場内整備工事）

項目	事 項	該 当		内 容					
① 計 画 準 備 関 係	施工計画書等の提出	◎	あ り	○	な し	現場着手に先立ち、「広島県土木工事共通仕様書」に基づき施工計画書を作成し、監督員の確認を得ること。			
		◎	あ り	○	な し	現場着手に先立ち、「広島県土木工事共通仕様書」に基づき主要資材承認書を作成し、監督員の確認を得ること。			
	変更図面の作成	○	あ り	◎	な し	設計図書に基づき現地の測量等を行い、試験掘りの結果及び地下埋設物等の状況について照査し、管路の法線及び高さ等に変更が生じた場合は、変更図面を作成し、提出すること。			
	取付ますの設置	○	あ り	◎	な し	取付ますを設置できる権利がある関係者に対し、あらかじめ取付管及び取付ますの設置に関して十分に説明し、設置の有無及び設置場所の確認等を行い、「取付管及び取付ます設置確認書」を取得し、施工すること。また、取付ますの深さについても、十分検討すること。 なお、取得した「取付管及び取付ます設置確認書」は、完成図書とあわせて提出すること。			
	誓約書の提出	◎	あ り	○	な し	試験掘りに先立ち、水道管、ガス管、その他の地下埋設物に対し、施工による不測の事態に対処するため、各管理者に誓約書を提出すること。また、その誓約書の写しを提出すること。 なお、福山市上下水道局に提出する誓約書には、福山市上下水道局指定の配水本管工事施工資格業者を誓約業者として指定すること。			
	協議	◎	あ り	○	な し	次のとおり、関係機関及び地域住民等との協議を行うこと。			
						関係機関	事項	協議の内容	備考
						関係機関	関係法令	関係法令に対する、届出、許可など	
						沿線商店	車両出入口	施工時間及び作業時間外の交通規制形態	
						その他	施工方法等	地元関係者（土木常設員、町内会役員、水利役員）、その他関係者への説明	
段階確認	◎	あ り	○	な し	施工の重要な段階において、監督員の段階確認を受け、適切に実施すること。 なお、段階確認の工種及び時期、箇所等については、監督員と事前に協議すること。				
情報共有システム	○	あ り	◎	な し	設計金額3，500万円以上の工事は、原則として情報共有システムを利用する。				

項目	事 項	該 当		内 容								
② 工程関係	工事期間	●	あり	○	なし	工事期間は、次のとおりの期間の合計としている。また、本工事着手までの準備期間とし40日間を、検査期間は14日間を見込んでいる。 なお、この工事期間には、雨天、休日等（作業期間内の全土曜日及び日曜日、並びに休暇等）を含んでいる。						
						☒ 準備期間	☒ 本工事施工期間	☐ 建物等調査期間	☒ 変更協議期間	☐		
						☒ 後片付け期間	☒ 検査期間	☐ 水道管移設期間	☐ ガス管移設期間	☐		
	関連する別途工事	●	あり	○	なし	本工事に関連して、次の工事が施工、施工予定とされているため、相互に連絡・調整等を密にし施工すること。						
						関連工事の名称		発注者名		予定期間		備考
						松永ポンプ場ポンプ増設工事（電気設備工事）		福山市上下水道局		2024年10月11日～2026年3月31日		
						松永ポンプ場ポンプ増設工事（ポンプ設備工事）		福山市上下水道局		2024年10月18日～2026年3月31日		
	制約条件	●	あり	○	なし	施工時期、施工時間及び施工方法に制約条件があるため、次のとおり、適切な処置を行うこと。						
						場所	制約の要因	制約の内容		備考		
						全体	円滑な交通の確保	施工時間帯は昼間とし、道路使用許可条件を遵守するものとする。				
	○	あり	●	なし								
③ 用地関係	借地	○	あり	●	なし	次のとおり、借地を見込んでいる。						
						場所	目的	面積	使用後の処置	備考		
	工事用地	○	あり	●	なし	工事区間において、次のとおり、一部未処理用地がある。						
						場所	面積	協議内容	完了見込時期	備考		
		○	あり	●	なし							

項目	事 項	該 当		内 容					
④ 周 辺 環 境 保 全 関 係	建設公害の処置	● あ り	○ な し	騒音・振動・粉塵・その他の防止のため、次のとおり、適切な処置を行うこと。					
				項目			処理方法		備考
				建設機械（全般）			排ガス対策型の使用		
	建物等の調査	○ あ り	● な し	一部の区間において、第三者に何らかの影響を及ぼすことが懸念されるため、次のとおり、発注者において近接する建物等の調査を実施する予定としている。 なお、調査箇所等を変更をする必要がある場合は、別途、協議すること。					
				調査内容	調査項目	数量			備考
	井戸の調査及び その他の調査等	○ あ り	● な し	一部の区間において、第三者に何らかの影響をおよぼすことが懸念されるため、次のとおり、事前に井戸調査及びその他の調査等を実施し、調査結果（計量証明書等）を監督員に提出すること。 なお、調査箇所等を変更する必要がある場合は、別途、協議すること。					
				調査内容	調査項目	数量			備考
	六価クロム溶出試験 の実施	● あ り	○ な し	次のとおり、「六価クロム溶出試験」を実施し、試験結果（計量証明書）を監督員に提出すること。 試験方法は、セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験要領による。 なお、土質条件、施工条件等により試験方法、検体数に変更が生じた場合は、監督員と協議すること。					
				場所	工種	配合設計段階検体数	施工後段階検体数	工法	備考
				仮締切工	大型土のう	1 検体	- 検体	大型土のう	試験方法1
	濁水・湧水の処理	● あ り	○ な し	施工に伴い発生する濁水・湧水は、水槽等の沈砂池により適切に処理し、排水すること。					
		○ あ り	● な し						

項目	事 項	該 当		内 容						
⑤ 安全対策関係	近接施工	○ あ り	● な し	重要施設に近接した施工となるため、次のとおり、適切に管理を行うこと。また、そのチェックリストを提出すること。						
				場所	近接する施設	条件			備考	
	作業時間内の埋戻復旧	● あ り	○ な し	作業時間外は交通開放するため、掘削・埋戻は即日を実施すること。 また、作業時間内に埋戻し・仮復旧を完了させ、作業時間外は掘削に伴う開口部を残さないこと。 なお、不測の事態により、埋戻復旧ができない場合は、警察等の関係機関へ連絡し、監督員に報告すること。 掘削・埋戻・仮復旧に係る割増を見込んでいる。						
⑥埋戻関係	処理土	● あ り	○ な し	処理土の購入先は、建設発生土リサイクルプラントを見込んでいる。						
	流用土（現場内流用）	● あ り	○ な し	埋戻土は、現場発生土の一部を流用することとしている。						
	流用土（他工事流用）	○ あ り	● な し	埋戻土は、次のとおり、他工事の発生土を流用する予定としている。 なお、止むを得ない事情により、これにより難い場合は、別途、協議すること。						
				他工事名		搬入場所		搬入時期		備考
	真砂土	○ あ り	● な し							
	品質管理	○ あ り	● な し	品質管理頻度	埋戻土量・試験回数		試験方法	(次のいずれか)		
埋戻土量500m3につき1回 ただし、50m3未満の場合は省略できる。					簡易貫入試験 (土研式円すい貫入試験)	市道 14回以上/10cm 県道 17回以上/10cm				
					現場密度試験	90%以上 (複数回の場合異なる層、位置で実施)				

項目	事 項	該 当		内 容					
⑦ 建設副産物関係	建設発生土	●	あ り	○	な し	当該工事により発生する建設発生土は、広島県が公表する建設発生土処分先一覧表に記載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）に搬出するものとする。			
	建設汚泥（泥土）	○	あ り	●	な し	建設汚泥（泥土）は、次の運搬先を見込んでいる。			
						種別	搬出場所	運搬距離	備考
	建設汚泥（泥水）	○	あ り	●	な し	建設汚泥（泥水）は、次の運搬先を見込んでいる。			
						種別	搬出場所	運搬距離	備考
	特定建設資材の廃棄物	●	あ り	○	な し	特定建設資材の廃棄物は、次の運搬先を見込んでいる。			
						種別	搬出場所	運搬距離	備考
						コンクリート殻（無筋）	尾道市原田町小原字船堀1095-1	仕様書のとおり	
						アスファルト殻	尾道市原田町小原字船堀1095-1	仕様書のとおり	
建設副産物情報交換システム	●	あ り	○	な し	建設副産物情報交換システムの登録対象工事である。				
広島県土砂の適正処理に関する条例	○	あ り	●	な し	「広島県の土砂の適正処理に関する条例」に係る届出及び許可の対象となる工事である。				
	○	あ り	●	な し					
	○	あ り	●	な し					

項目	事 項	該 当		内 容				
⑧ 仮設関係	土留	○ あ り	● な し	次のとおり、土留を見込んでいる。なお、開削工における建込土留については任意仮設とする。仮設方法は土質条件・現場条件および周辺環境を考慮し施工管理・出来形管理を行うこと。				
				場所	工法	土留種別	備考	
	仮設(土留)材料の残置	○ あ り	● な し	次のとおり、工事終了後も仮設（土留）材料を残置すること。				
				場所	仮設材料名	残置の形態	数量	備考
	路面覆工	○ あ り	● な し	作業時間以外は交通開放するため、次のとおり、路面覆工を見込んでいる。				
				場所	覆工幅	覆工延長	仕様	備考
	覆工材料の残置	○ あ り	● な し	別途工事で引き続いて使用するため、次のとおり、工事終了後も覆工材料を残置すること。				
				場所	仕様	数量	付属部材	備考
	水替	● あ り	○ な し	施工に伴う湧水について、水替ポンプにより排水することを見込んでいる。				
	仮設電力設備	● あ り	○ な し	次のとおり、仮設電力設備を見込んでいる。				
				場所	設備の種類			備考
				水替工	☒ 発動発電機	☐ —低圧受電—	☐ —高圧受電—	
					☐ —発動発電機—	☐ —低圧受電—	☐ —高圧受電—	
		☐ —発動発電機—	☐ —低圧受電—	☐ —高圧受電—				
	一般搬入道路	● あ り	○ な し	一般道路を搬入路として使用するにあたり、次のとおり、適切に処置すること。				
搬入道路				期間	時間	工事中・後の処置	備考	
全ての道路				工事期間	8時～17時	随時路面等の清掃、工事後舗装等の欠損部補修	処置は使用に伴い影響があった場合	
仮設道路	○ あ り	● な し	仮設道路を設置・使用するにあたり、次のとおり、適切に処置すること。					
			期間	安全施設	使用中の処置	使用後の処置	備考	

項目	事 項	該 当		内 容				
⑨ 工事支障物件関係	試験掘り	○ あ り	◎ な し	施工に先立ち、地下埋設物等の位置を確認するため、次のとおり、試験掘りを行うこと。				
				場所	確認物件	方法	備考	
	本工事に含まれる移設工事	○ あ り	◎ な し	本工事では、次の移設工事を含んでいる。				
				場所	移設物件	移設の形態	設計見込金額（税抜）	
	工事支障物件	○ あ り	◎ な し	次の物件について、工事の支障となる可能性があることを見込んでいる。 なお、試験掘り等の結果により、別途、協議を行うこと。				
				場所	支障物件	内容	備考	
	○ あ り	◎ な し						
⑩ 地盤改良・推進関係	薬液注入	○ あ り	◎ な し	次のとおり、薬液注入工法を見込んでいる。なお、注入対象範囲は標準的なものを表している。注入率・注入割合はグラウト協会を参照している。現場条件に合わせて実施すること。				
				場所	数量・区分等	工法	プラント	備考
	推進工法	○ あ り	◎ な し	次のとおり、推進工法を見込んでいる。				
				区間	工法	備考		
		○ あ り	◎ な し					

項目	事 項	該 当		内 容
⑪ そ の 他	取付ますの請求額	○ あ り	◎ な し	
	その他の図面	○ あ り	◎ な し	福山市上下水道局の「福山市下水道構造標準図」（２０２３年４月１日改訂版）に基づき、適切に実施すること。
	マンホール及び取付管 の位置調査	○ あ り	◎ な し	
	工事完成のお知らせ	○ あ り	◎ な し	完成検査が終了した後、工事沿線の関係者に対して「下水道工事完成のお知らせ」（別途、参考様式有り）を配布すること。
	週休2日適用工事 発注者指定	○ あ り	◎ な し	「発注者指定型」 本工事は、週休2日対象工事です。詳細については、別紙（福山市上下水道局週休2日適用工事の実施について）によるものとします。
		◎ あ り	○ な し	「受注者希望型」 本工事は、週休2日対象工事です。詳細については、別紙（福山市上下水道局週休2日適用工事の実施について）によるものとします。
		○ あ り	◎ な し	
		○ あ り	◎ な し	
		○ あ り	◎ な し	

福山市上下水道局週休 2 日適用工事の実施について

1 福山市上下水道局週休 2 日適用工事の実施に係る用語の定義は次の各号に定めるものとする。

(1)「週休 2 日」とは、次のアからイまでに定める区分に応じ、各条件を満たすものをいう。

ア 「完全週休 2 日（土日）」とは、対象期間の全ての週（原則として、土曜日から金曜日までの 7 日間とする。以下同じ。）毎に現場閉所又は現場休息（以下「現場閉所等」という。）を原則として土曜日及び日曜日に指定し、1 週間に 2 日以上現場閉所等を行うものをいう。

イ 「月単位の週休 2 日」とは、対象期間内の全ての月毎に現場閉所等の日数が、4 週 8 休（現場閉所等の割合が 28.5%（8 日／28 日）以上のものをいう。以下同じ。）以上であるものをいう。

(2)「現場閉所」とは、巡回パトロール、保守点検等の現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場事務所での作業を含めて 1 日を通して現場及び現場事務所が閉所された状態をいう。

(3)「現場休息」とは、分離発注工事の場合に、各発注工事単位で、現場事務所での作業を含めて 1 日を通して現場作業が無い状態をいう。

(4)「対象期間」とは、工事着手日（準備期間（契約上の工事の始期から現場事務所などの設置、測量、本体工事又は仮設工事のいずれか最も早い日までの期間をいう。）を除く。）から工事の完成日（後片付け期間（契約図書に基づく工事目的物の施工が全て完了し、余剰資材等の撤去、現場の清掃等、工事の完成検査を受けるために必要な作業を行う期間をいう。）を除く。）までの期間をいう。ただし、次の期間は対象期間から除くものとする。

ア 年末年始 6 日間及び夏季休暇 3 日間

イ 工場製作のみが行われている期間

ウ 災害時の緊急対応その他受注者の責めによらず、休工又は現場作業を余儀なくされた期間

(5)「発注者指定型」とは、週休 2 日適用工事として発注者が指定するものをいう。

(6)「受注者希望型」とは、受注者が工事着手前に、発注者に対して週休 2 日適用工事として取り組む旨を申し出たものをいう。

2 週休 2 日は、次の各号に定めるところにより実施するものとする。

(1) 完全週休 2 日（土日）

1 (1) アに定めるところにより実施するものとする。ただし、対象期間内のうち、日数が 7 日に満たない週においては、当該週の土曜日及び日曜日の合計日数以上の現場閉所等を行うことで実施できるものとする。

(2) 月単位の週休 2 日

1 (1) イに定めるところにより実施するものとする。ただし、暦上の土曜日及び日曜日の現場閉所等では 4 週 8 休に満たない月又は日数が 28 日に満たない月においては、当該月の対象期間内の土曜日及び日曜日の合計日数以上の現場閉所等を行うことにより実

施できるものとする。

- 3 受注者は、受注した工事が発注者指定型の場合は、工事着手までに監督員に対し、実施する週休2日の区分について申し出るとともに、現場閉所（現場休息）計画表兼実績表（様式1）（以下「計画表」という。）を提出するものとする。
- 4 受注者は、受注した工事が受注者希望型の場合は、工事着手までに監督員に対し、週休2日実施の有無及び実施する週休2日の区分について申し出るとともに、実施する場合は計画表を提出するものとする。工事着手前に週休2日を実施しない旨を申し出た場合は、工事着手後の週休2日を実施する旨の申出は受け付けられないものとする。なお、週休2日実施を希望しない受注者は、6～7に規定する義務を負わない。
- 5 受注者は、天候を理由として現場閉所等を行う場合のほか、次に掲げる場合は、監督員との協議により工事着手後であっても週休日を変更することができるものとする。
 - （1）品質管理、安全管理等のため作業を継続して行う必要がある場合
 - （2）その他工程の都合上やむを得ない場合
- 6 受注者は、当該工事が週休2日適用工事である旨を土木工事にあつては標示板の見えやすい位置に記載して工事現場に設置し、建築工事にあつては施設管理者の承諾を得て公衆の見やすい場所に掲示しなければならない。この場合において、記載内容は、別記様式に定めるものを基本とするものとする。
- 7 受注者は、計画表に現場閉所等の状況を記入し、現場閉所等の状況が確認できる書類（工事日誌、出勤簿等をいう。）とともに毎月7日（7日が閉庁日の場合は翌開庁日）まで及び工事完成後速やかに、工事打合せ簿により監督員に提出し、確認を受けるものとする。
- 8 週休2日を理由とする工期延長については、認めないものとする。
- 9 受注者は、週休2日を実施できなくなった場合は、速やかにその旨及び理由を工事打合せ簿により監督員に報告するものとする。
- 10 経費の補正は、次の各号に掲げるとおりとする。
 - （1）発注者指定型
月単位の週休2日の経費を見込んで発注し、現場閉所等の実績に基づき、完全週休2日（土日）を達成したと認めた場合は、完全週休2日（土日）の補正係数を適用して変更契約し、月単位の週休2日を達成できなかった場合は、月単位の週休2日の補正係数を除いて変更契約を行うものとする。
 - （2）受注者希望型
週休2日の経費は見込まず発注し、現場閉所等の実績に基づき、達成した週休2日の区分に応じて完全週休2日（土日）又は月単位の週休2日の補正係数を適用して変更契約を行うものとする。
- 11 土木工事に係る経費の補正係数については、次の各号に掲げる現場閉所等の実績に基づき、当該各号に定める補正係数、別表土木工事市場単価の補正係数及び土木工事標準単価の補正係数を用いるものとする。
 - （1）完全週休2日（土日）

ア 労務費	1.02
イ 共通仮設費	1.02
ウ 現場管理費	1.03
 - （2）月単位の週休2日

ア 労務費	1.02
-------	------

イ 共通仮設費 1.01

ウ 現場管理費 1.02

12 11(1)ア及び11(2)アに規定する労務費に係る補正対象は、公共工事設計労務単価、電気通信技術者、電気通信技術員、機械設備据付工とする。

13 建築工事に係る経費については、次の各号に掲げる現場閉所等の実績に基づき、当該各号に定める補正係数を用いて労務費（予定価格のもととなる工事費の積算に用いる複合単価、市場単価及び物価資料の掲載価格（材工単価）の労務費とする。）及び現場管理費を補正するものとする。

(1) 完全週休2日（土日）

ア 労務費 1.02

イ 現場管理費 1.01

(2) 月単位の週休2日

労務費 1.02

14 週休2日を達成したときは、工事成績評定表の「工程管理」及び「創意工夫」において評価するものとする。

週休2日を達成できなかった場合であっても、工事成績評定は減点しない。

15 計画表その他の提出資料に虚偽の記載等を行った場合は、指名除外措置の対象となる場合がある。

別表

土木工事市場単価の補正係数

名称	区分	補正係数	
		月単位の 週休２日	完全 週休２日 (土日)
鉄筋工		1.02	1.02
ガス圧接工		1.01	1.01
インターロッキングブロック工	設置	1.01	1.01
	撤去	1.02	1.02
防護柵設置工（ガードレール）	設置	1.00	1.00
	撤去	1.02	1.02
防護柵設置工（ガードパイプ）	設置	1.00	1.00
	撤去	1.02	1.02
防護柵設置工（横断・転落防止柵）	設置	1.02	1.02
	撤去	1.02	1.02
防護柵設置工（落石防護柵）		1.01	1.01
防護柵設置工（落石防止網）		1.01	1.01
道路標識設置工	設置	1.00	1.00
	撤去・移設	1.01	1.01
道路付属物設置工	設置	1.01	1.01
	撤去	1.02	1.02
法面工		1.01	1.01
吹付砕工		1.01	1.01
鉄筋挿入工（ロックボルト工）		1.01	1.01
道路植栽工		1.02	1.02
公園植栽工		1.02	1.02
橋梁用伸縮継手装置設置工		1.01	1.01
橋梁用埋設型伸縮継手装置設置工		1.02	1.02
橋面防水工		1.01	1.01
薄層カラー舗装工		1.00	1.00
グルーピング工		1.00	1.00
軟弱地盤処理工		1.01	1.01
コンクリート表面処理工 （ウォータージェット工）		1.01	1.01
硬質塩化ビニル管設置工		1.01	1.01
リブ付硬質塩化ビニル管設置工		1.01	1.01
砂基礎工	人力施工	1.02	1.02
	機械施工	1.02	1.02
碎石基礎工	人力施工	1.02	1.02
	機械施工	1.02	1.02
組立マンホール設置工		1.01	1.01
小型マンホール工		1.00	1.00
取付管及びます設置工	ます設置工	1.00	1.00
	取付管布設及 び支管取付工	1.01	1.01

土木工事標準単価の補正係数

名称	区分	補正係数	
		月単位の 週休２日	完全 週休２日 (土日)
区画線工		1.02	1.02
高視認性区画線工		1.02	1.02
橋梁塗装工		1.01	1.01
構造物とりこわし工	機械	1.01	1.01
	人力	1.02	1.02
コンクリートブロック積工		1.02	1.02
排水構造物工		1.02	1.02

(1) 土木工事

ご協力をお願いします	
週休 2 日適用工事	
〇〇〇〇〇を なおしています	
〇〇年〇〇月まで	
時間帯〇:〇〇~〇:〇〇	
〇〇〇〇工事	
発注者	福山市上下水道局 〇〇〇〇課
	電話 000-000-0000
施工者	〇〇〇〇建設株式会社
	電話 000-000-0000

(2) 建築工事

週休 2 日 適用工事

(A 3 サイズ以上)

(3) 共通

週休 2 日適用工事
この工事は、建設産業の労働環境を改善するため、週休 2 日の確保に取り組む工事です。
発注者：福山市上下水道局〇〇〇課
受注者：〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

(A 3 サイズ以上)

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 70 福山市 00-07.08.01(0)	凡例 Co … コンクリート As … アスファルト DT … ダンプトラック BH … バックホウ CC … クローラクレーン TC … トラッククレーン RTC… ラフテレーンクレーン	
諸経費体系	1 公共(一般)		
	当世代	前世代	
工種 施工地域・工事場所区分 復興補正区分 週休補正区分 現場事務所等の貸与区分 I C T補正区分 冬期補正係数 緊急工事区分 前払金支出割合区分 契約保証区分	32 下水道工事 (3) 04 一般交通影響有り(2) 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0 % 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)		
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

本工事費 内訳表

頁0 -0002

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
処理場・ポンプ場					Y1106 レベル1
場内整備工	1	式			Y110613 レベル2
残土処理工	1	式			Y11060104 レベル3
残土処理	1	式			Y1106010401 レベル4
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) D1D区間有り 距離5.5km以下(4.5km超)		m3			SPK25040002 00
	60	m3			単第0 -0001 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
残土処分費 砂質土					F000001000 00
	60	m3			
門扉工					Y11061302 レベル3
	1	式			

本工事費 内訳表

頁0 -0003

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
門扉基礎					Y1106130207レベル4
		箇所			
大型引戸門扉基礎工 W=6,000 H=1,600	1	箇所			V000000100 00 単第0 -0002 表
メッシュフェンス片開き門扉基礎工（埋込み） W=1,000 H=1,800	1	箇所			V000000600 00 単第0 -0009 表
メッシュフェンス片開き門扉基礎工 W=1,000 H=1,800	1	箇所			V000000200 00 単第0 -0011 表
メッシュフェンス両開き門扉基礎工 W=4,000 H=1,800	1	箇所			V000000300 00 単第0 -0013 表
門扉					Y1106130207レベル4
		基			
薄型車輪式引戸門扉 W=6,000 H=1,600 材工共	1	基			F000000100 00
門扉 片開き 門柱高2m以下 埋込式	1	基			SPK25040259 00 単第0 -0014 表
メッシュフェンス片開門扉 W=1,000 H=1,800	1	基			F000000200 00

本工事費 内訳表

頁0 -0004

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
門扉 片開き 門柱高2m以下 基礎式	1	基			SPK25040259 00 単第0 -0015 表
メッシュフェンス片開門扉 W=1,000 H=1,800	1	基			F000000200 00
門扉 両開き	1	基			SPK25040259 00 単第0 -0016 表
メッシュフェンス両開門扉 W=4,000 H=1,800	1	基			F000000400 00
フェンス工	1	式			Y1I061303 レベル3
フェンス基礎(埋込式)		基			Y1I06130302レベル4
コンクリート削孔(コンクリート穿孔機) 削孔径90mm以上100mm未満 削孔深さ200mm以上400mm未満	17	孔			SPK25040116 00 単第0 -0010 表
フェンス基礎(現場打)		基			Y1I06130302レベル4
メッシュフェンス基礎工 H=1,800	4	箇所			V000000400 00 単第0 -0017 表

本工事費 内訳表

頁0 -0005

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
フェンス		m			Y1106130303レベル4
金網・支柱(立入防止柵) 基礎ブロック 支柱間隔2m	32	m			SPK25040255 00 単第0 -0018 表
メッシュフェンス H=1,800 スパン2,000 埋込式	21.5	m			F000000500 00
メッシュフェンス H=1,800 スパン2,000 基礎式	10.8	m			F000000600 00
コンクリート舗装工	1	式			Y11060909 レベル3
コンクリート舗装		m2			Y1106090904レベル4
コンクリート舗装	90	m2			V000000500 00 単第0 -0019 表
目地板 1工事当り使用量30m2未満 瀝青繊維質目地板 t=10mm	12	m2			SPK25040118 00 単第0 -0021 表
階段工	1	式			Y11061313 レベル3

本工事費 内訳表

頁0 -0006

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
足掛金物		本			Y1106131306 レベル4
足掛金物取付工	8	本			S6578 00 単第0 -0022 表
マンホール用足掛金物 径φ19mm,足掛幅W300mm,奥行H220,SUS 後付けタイプ(樹脂固着式),SH30-220相当品	8	本			TH003196 00
構造物取壊し工	1	式			Y11061402 レベル3
殻運搬処理		m3			Y1106140209 レベル4
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間有り 運搬距離10.9km以下(8.0km超)	0.04	m3			SPK25040155 00 単第0 -0023 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
再資源化施設受入費 無筋Co殻	0.04	m3			F000001200 00
本体仮設工	1	式			Y110605 レベル2

本工事費 内訳表

頁0 -0007

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
土留・仮締切工					Y1I060501 レベル3
	1	式			
土のう					Y1J01010419レベル4
		袋			
大型土のう製作・設置(RTC設置)					SHD10005 00
	44	袋			単第0 -0024 表
購入土 処理土					F000001600 00
	44	m3			
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) D1D区間有り 距離7.0km以下(5.5km超)					SPK25040002 00
	40	m3			単第0 -0026 表
大型土のう撤去 設置作業半径_6mを超え20m以下					S1050057 00
	68	袋			単第0 -0027 表
現場発生品及び支給品運搬 クレーン装置付BT2t積2.9t吊 片道運搬距離23.5km以下(20.0km超)					SPK25040411 00
	0.2	t			単第0 -0028 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
再資源化施設受入費 廃プラスチック					F000001400 00
	0.2	t			

本工事費 内訳表

頁0 -0008

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
水替工	1	式			Y11060505 レベル3
ポンプ排水		日			Y1106050501レベル4
据付・撤去工	1	現場			SG1D0042002 00 単第0 -0029 表
ポンプ運転工	6	日			SG1D0042001 00 単第0 -0030 表
場内管路工	1	式			Y110607 レベル2
管基礎工	1	式			Y11060707 レベル3
コンクリート基礎		m			Y1106070707レベル4
樹脂アンカー D13下向き	48	本			V000000700 00 単第0 -0032 表
鉄筋工 SD345 D13 一般構造物 [規]10t未満	0.2	t			SS0000099 00 単第0 -0034 表

本工事費 内訳表

頁0 -0009

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 24-12-25(20)BB バックホウ(クレーン機能付)打設	11	m3			SPK25040157 00 単第0 -0035 表
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	21	m2			SPK25040159 00 単第0 -0036 表
足場					Y1106060708レベル4
		掛m2			
手摺先行型枠組・単管・単管傾斜足場 手摺先行型枠組足場	20	掛m2			S0380 00 単第0 -0037 表
付帯工					Y110609 レベル2
	1	式			
角落し工					Y11060812 レベル3
	1	式			
角落し					Y1106081201レベル4
		箇所			
合成木材角落し					F000000700 00
	1	式			
手摺工					Y11060813 レベル3
	1	式			

本工事費 内訳表

頁0 -0010

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
手すり		m			Y1106081301レベル4
アルミニウム製手すり H=1,100 固定式（ベースポスト式） L=11.0m	1	式			F000000800 00
アルミニウム製手すり H=1,100 取外し式（ベースポスト式） L=7.2m	1	式			F000000900 00
舗装撤去工	1	式			Y11060903 レベル3
舗装版切断		m			Y1106090301レベル4
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	12	m			SPK25040307 00 単第0 -0038 表
舗装版破碎		m2			Y1106090302レベル4
舗装版破碎 アスファルト舗装版 障害等無し 舗装版厚15cm以下	254	m2			SPK25040306 00 単第0 -0039 表
殻運搬処理		m3			Y1106090304レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0011

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
殻運搬 舗装版破碎 DID区間有り 運搬距離10.5km以下(6.0km超)	13	m3			SPK25040155 00 単第0 -0040 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
再資源化施設受入費 AS殻	13	m3			F000001100 00
アスファルト舗装工	1	式			Y11060908 レベル3
不陸整正		m2			Y1106090801 レベル4
不陸整正 補足材料無し	254	m2			SPK25040234 00 単第0 -0041 表
表層		m2			Y1106090805 レベル4
表層(車道・路肩部) 平均幅員3.0m超 1層当り平均仕上厚50mm	254	m2			SPK25040244 00 単第0 -0042 表
区画線工	1	式			Y11060912 レベル3

本工事費 内訳表

頁0 -0012

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
溶融式区画線		m			Y1I06091201レベル4
区画線設置(溶融式) 実線_15cm	76	m			VDT00001 00 単第0 -0043 表
仮設工					Y1J0101 レベル2
交通管理工	1	式			Y1J010121 レベル3
交通誘導警備員	1	式			Y1J01012101レベル4
交通誘導警備員B		人			R0369 00
	32	人			
* * 直接工事費 * * #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
技術管理費					Z0006
技術管理費	1	式			YZZ06 レベル2

本工事費 内訳表

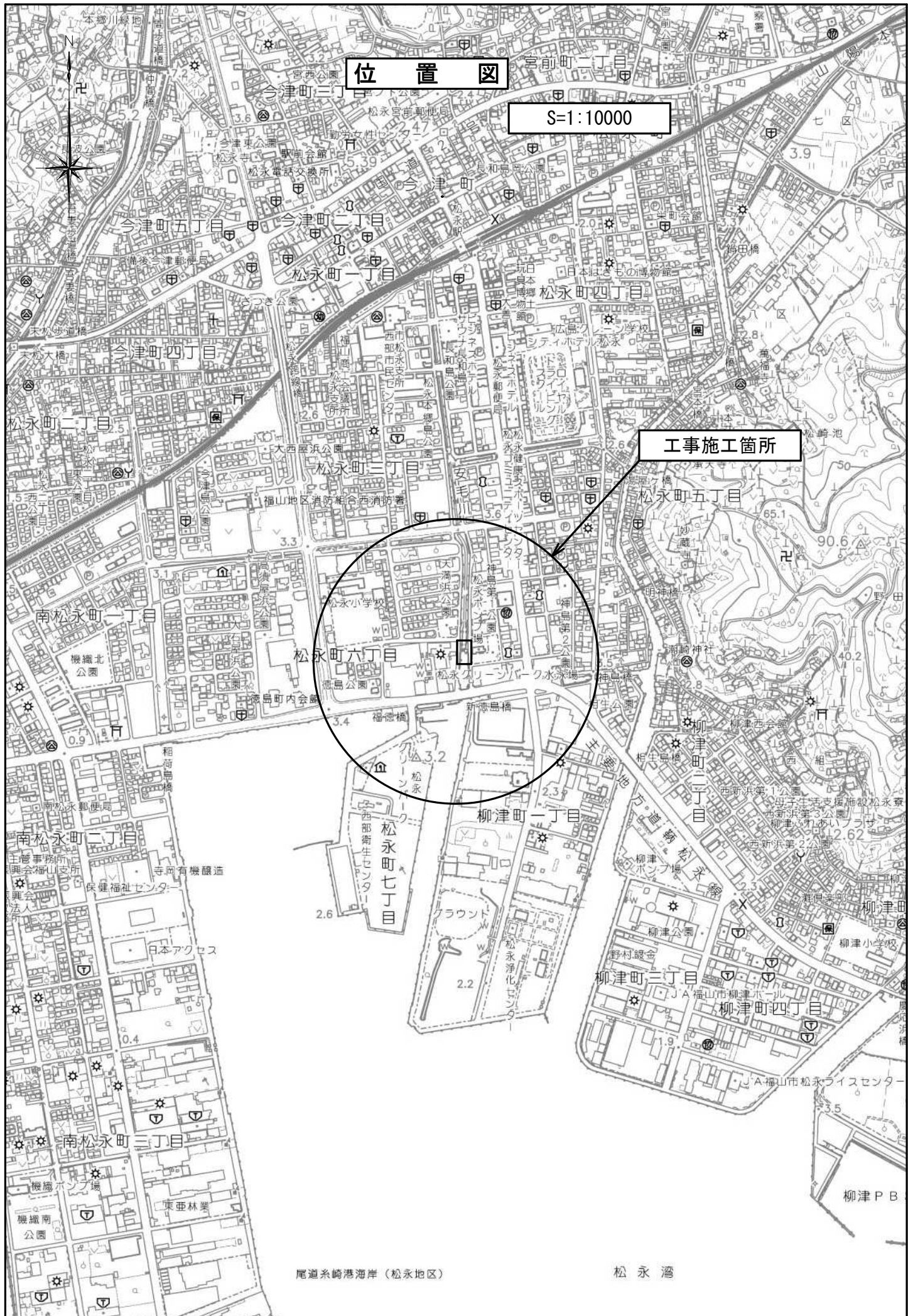
頁0 -0013

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
技術管理費					YZZ06001 レベル3
	1	式			
土質試験費					YZZ06001001レベル4
		式			
環境庁告示第46号溶出試験 六価クロム溶出試験費 試験方法1	1	試料			TH003912 00
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					
* * 共通仮設費計 * *					
* * 純工事費 * *					
現場管理費					
計算情報..... 対象額..... 率.....					
* * 工事原価 * *					

本工事費 内訳表

頁0 -0014

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
一般管理費率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率...
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
* * 工事価格 * *					
* * 消費税相当額 * * 計算情報..... 対象額..... 率.....					
* * 工事費計 * *					
* * 契約保証費計 * *					



位置図

S=1:10000

工事施工箇所

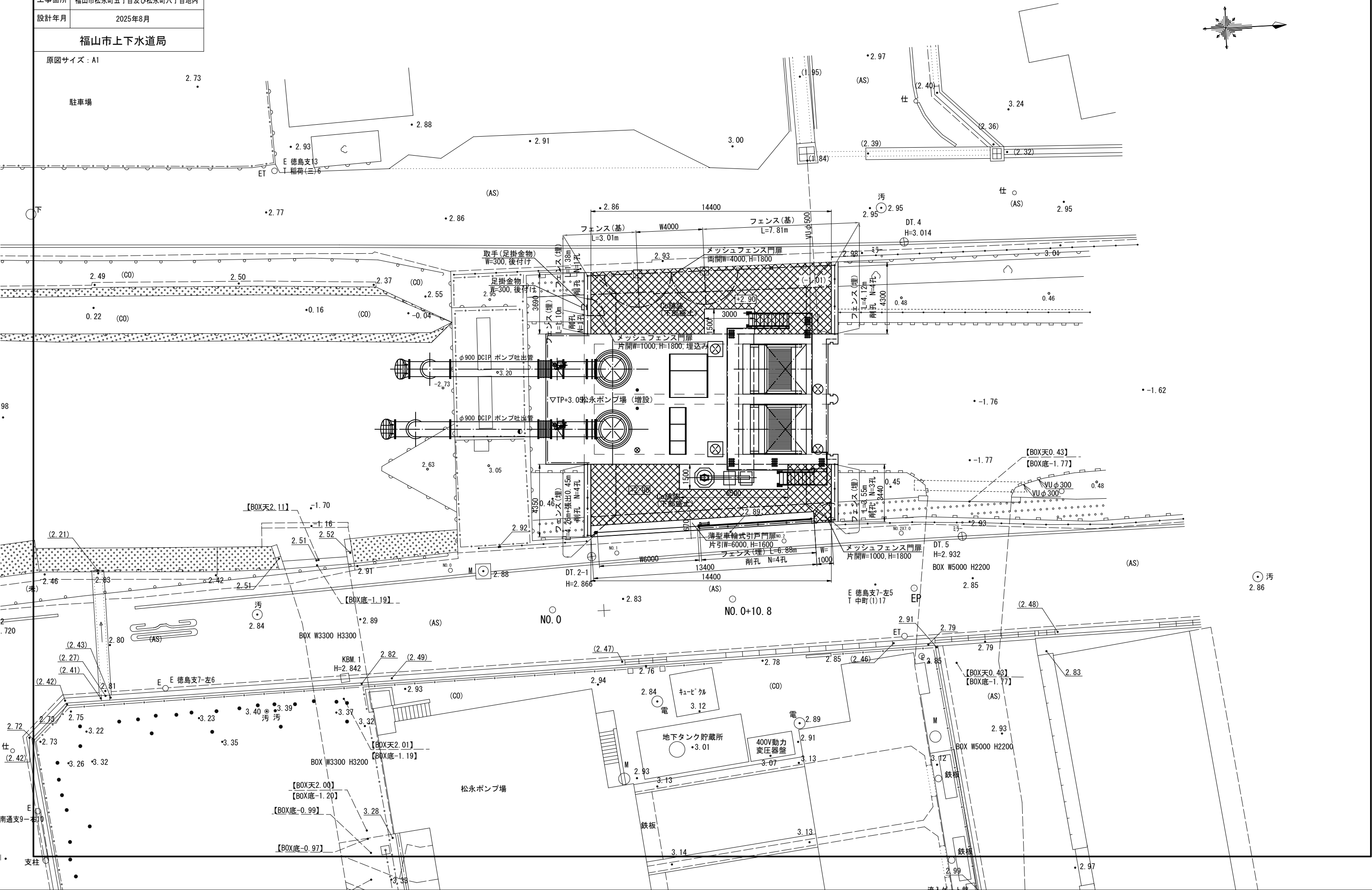
尾道系崎港海岸（松永地区）

松永湾

図面番号	1	縮 尺	1/100
工 事 名	松永ポンプ場ポンプ増設工事（場内整備工事）		
種 別	場内整備平面図	番 号	
工事箇所	福山市松永町五丁目及び松永町六丁目地内		
設計年月	2025年8月		
福山市上下水道局			

原図サイズ：A1

場内整備平面図1/100



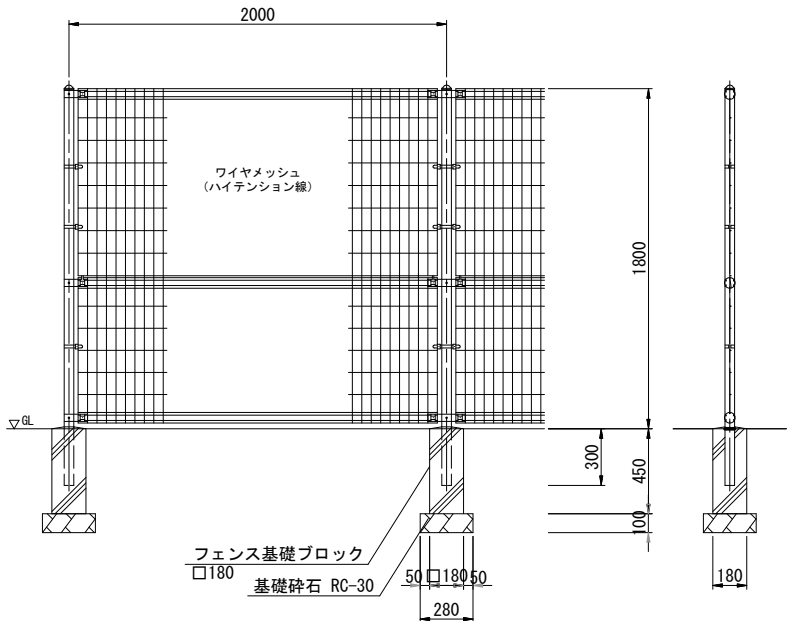
図面番号	2	縮 尺	1/20
工 事 名	松永ポンプ場ポンプ増設工事（場内整備工事）		
種 別	場内整備詳細図(1)	番 号	
工事箇所	福山市松永町五丁目及び松永町六丁目地内		
設計年月	2025年8月		
福山市上下水道局			

原図サイズ：A1

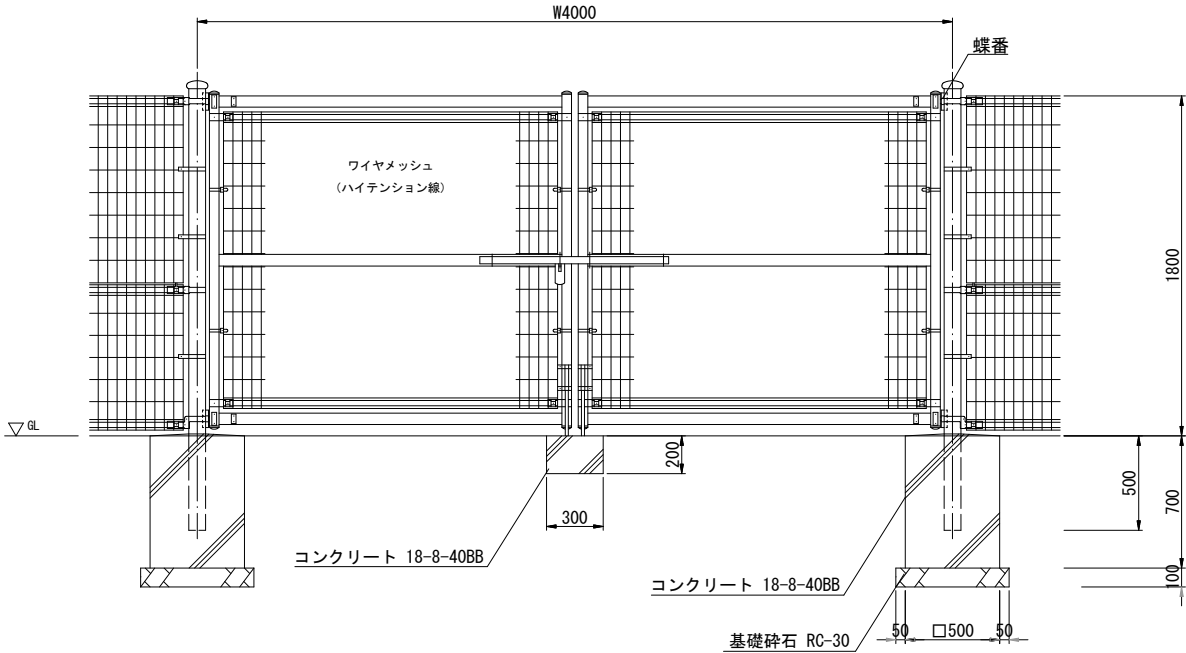
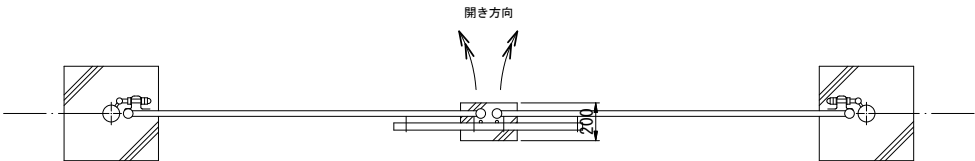
場内整備詳細図(1)

1/20

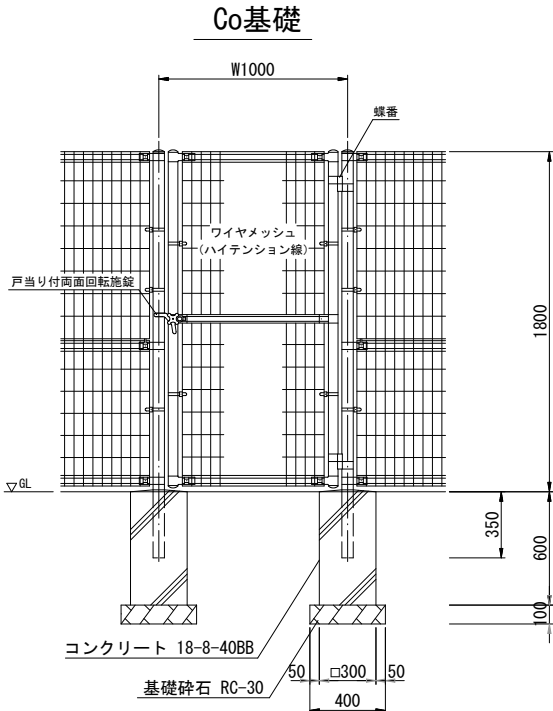
メッシュフェンス
H=1800



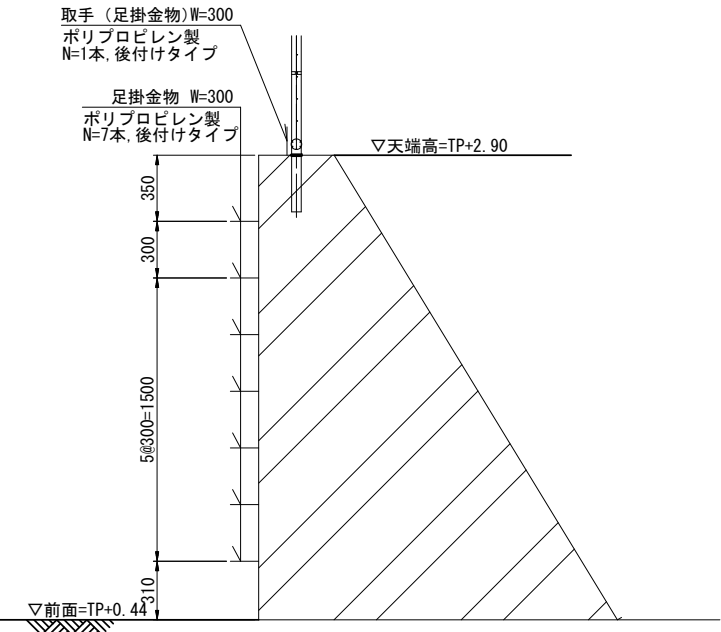
メッシュフェンス両開き門扉
W=4000、H=1800



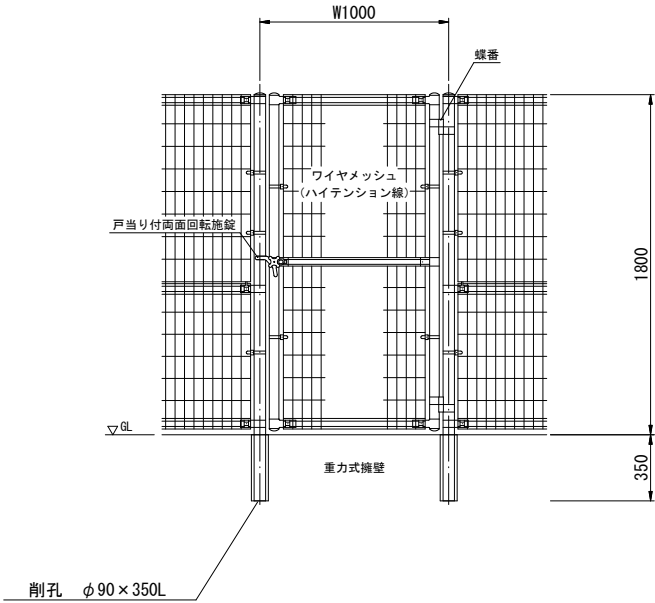
メッシュフェンス片開き門扉
W=1000、H=1800



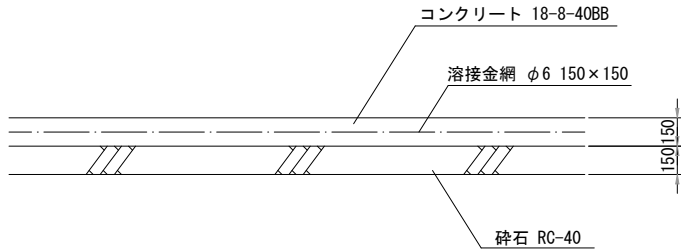
足掛金物・取手



埋込み



コンクリート舗装

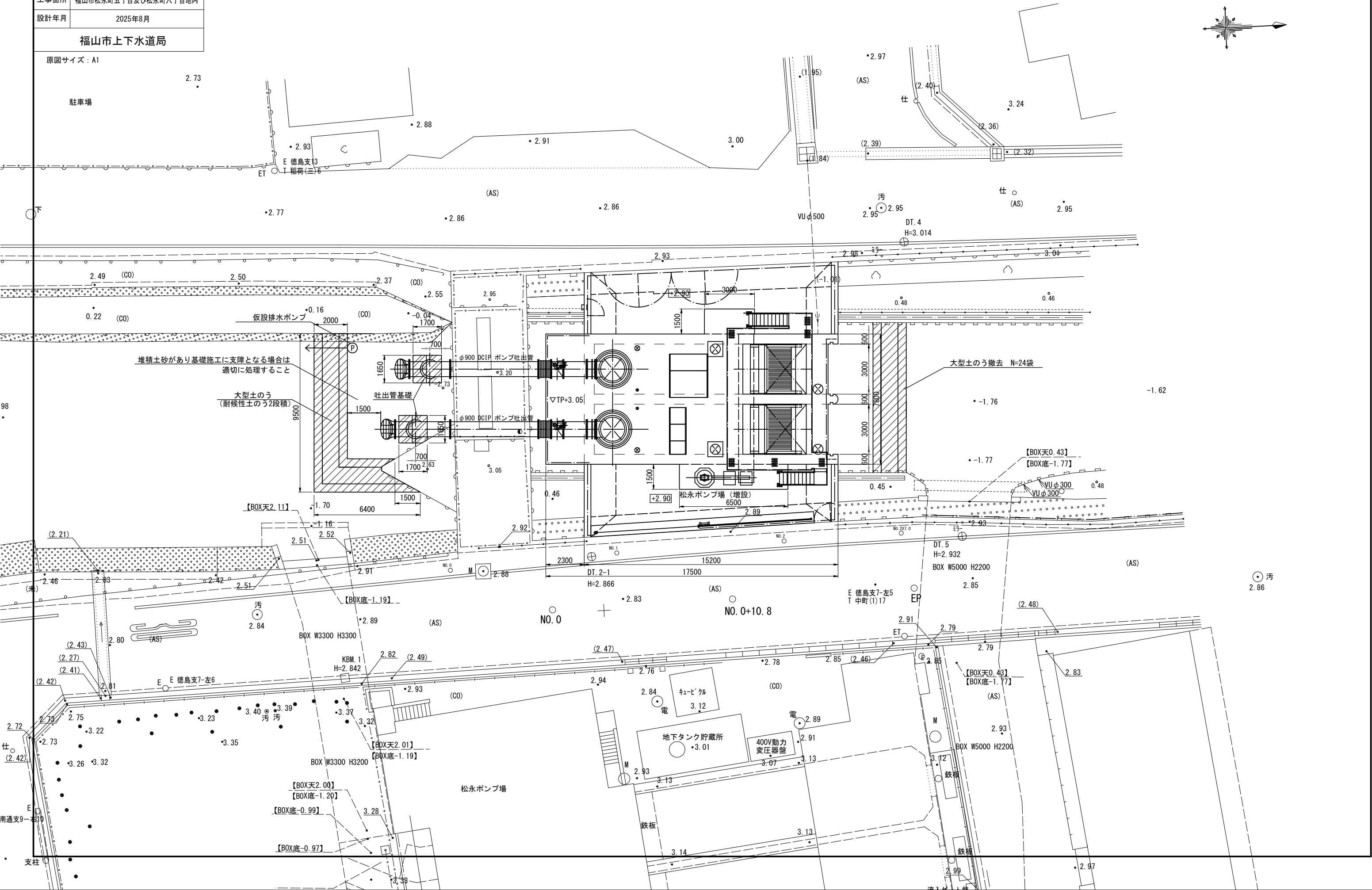


※コンクリート舗装外周部および、適切な位置に目地材を設けること

図面番号	4	縮 尺	1/100
工 事 名	松永ポンプ場ポンプ増設工事（場内整備工事）		
種 別	吐出管基礎平面図	番 号	
工事箇所	福山市松永町五丁目及び松永町六丁目地内		
設計年月	2025年8月		
福山市上下水道局			

原図サイズ：A1

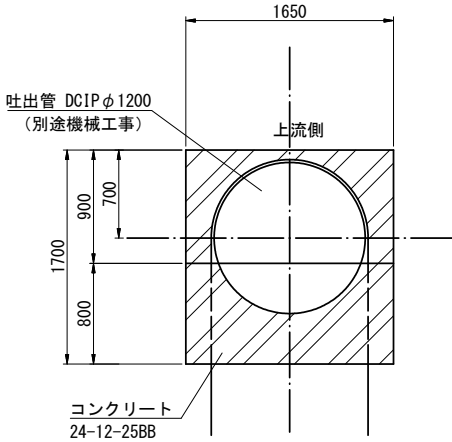
吐出管基礎平面図 1/100



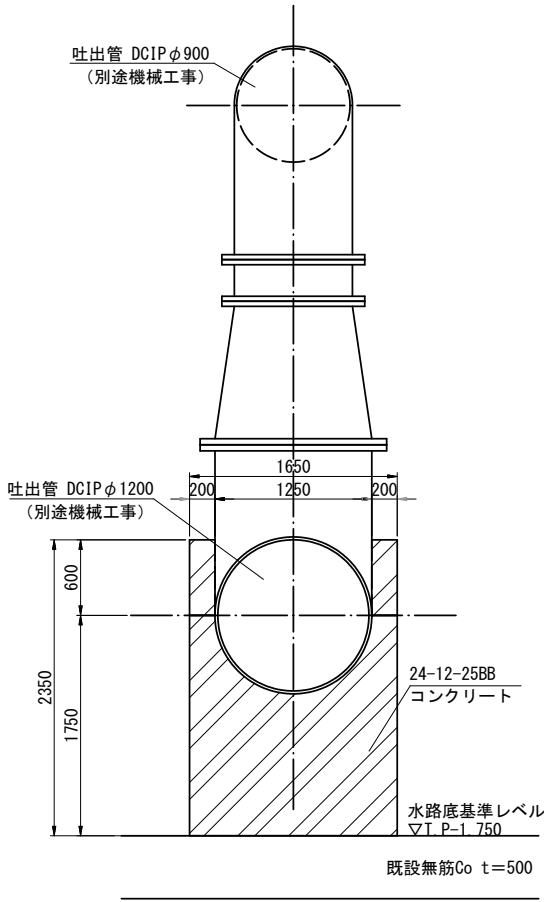
図面番号	5	縮 尺	1/30
工 事 名	松永ポンプ場ポンプ増設工事（場内整備工事）		
種 別	吐出管基礎詳細図	番 号	
工事箇所	福山市松永町五丁目及び松永町六丁目地内		
設計年月	2025年8月		
福山市上下水道局			

原図サイズ：A1

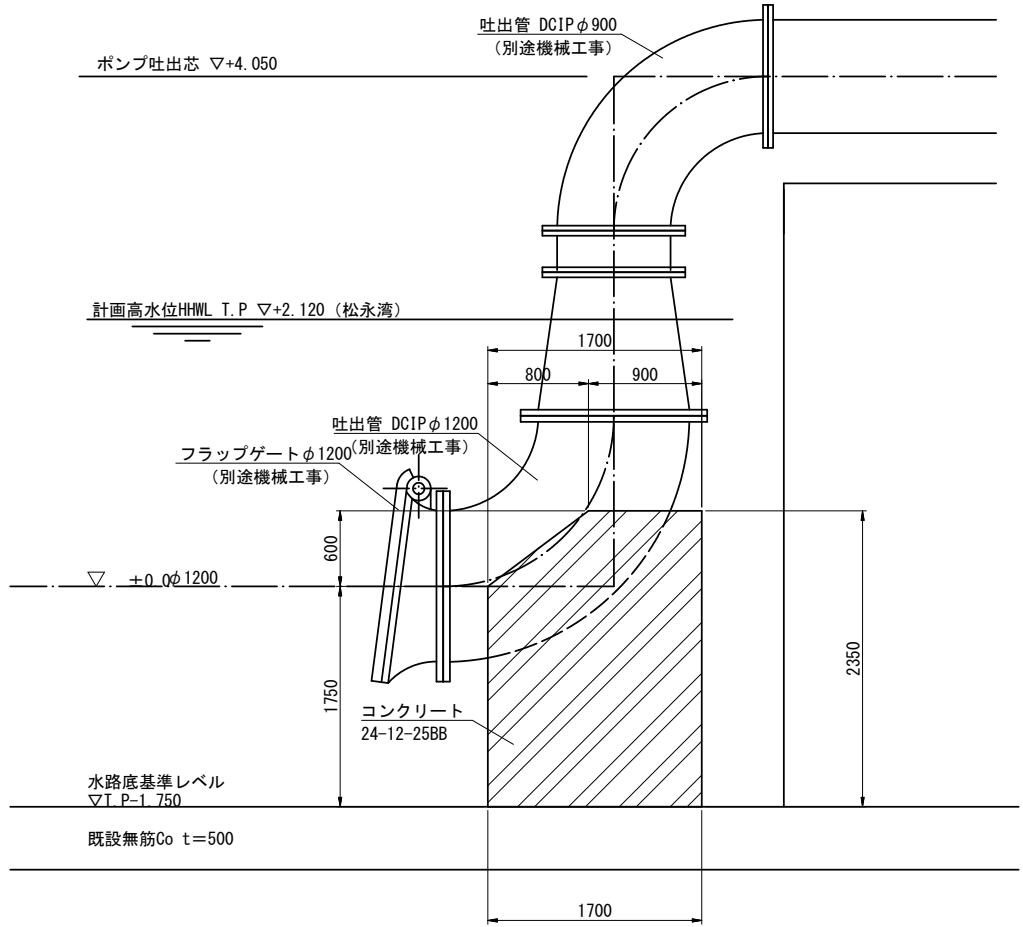
平 面 図



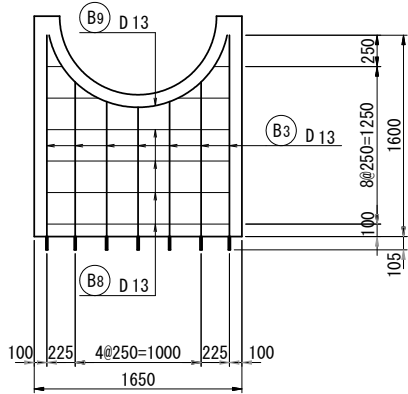
横断面図



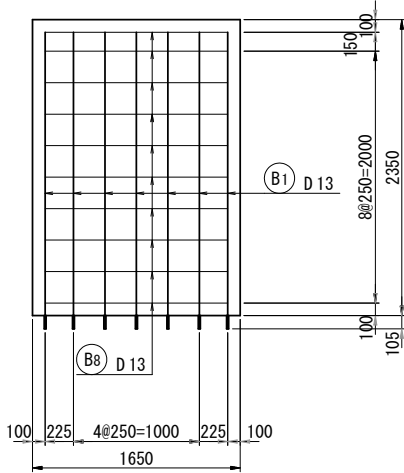
縦断面図



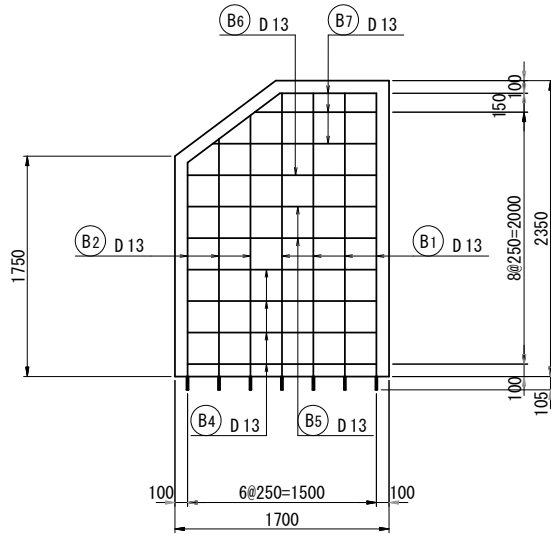
下流側横断面配筋図
(1箇所当たり1面)



上流側横断面配筋図
(1箇所当たり1面)



縦断面配筋図
(1箇所当たり2面)



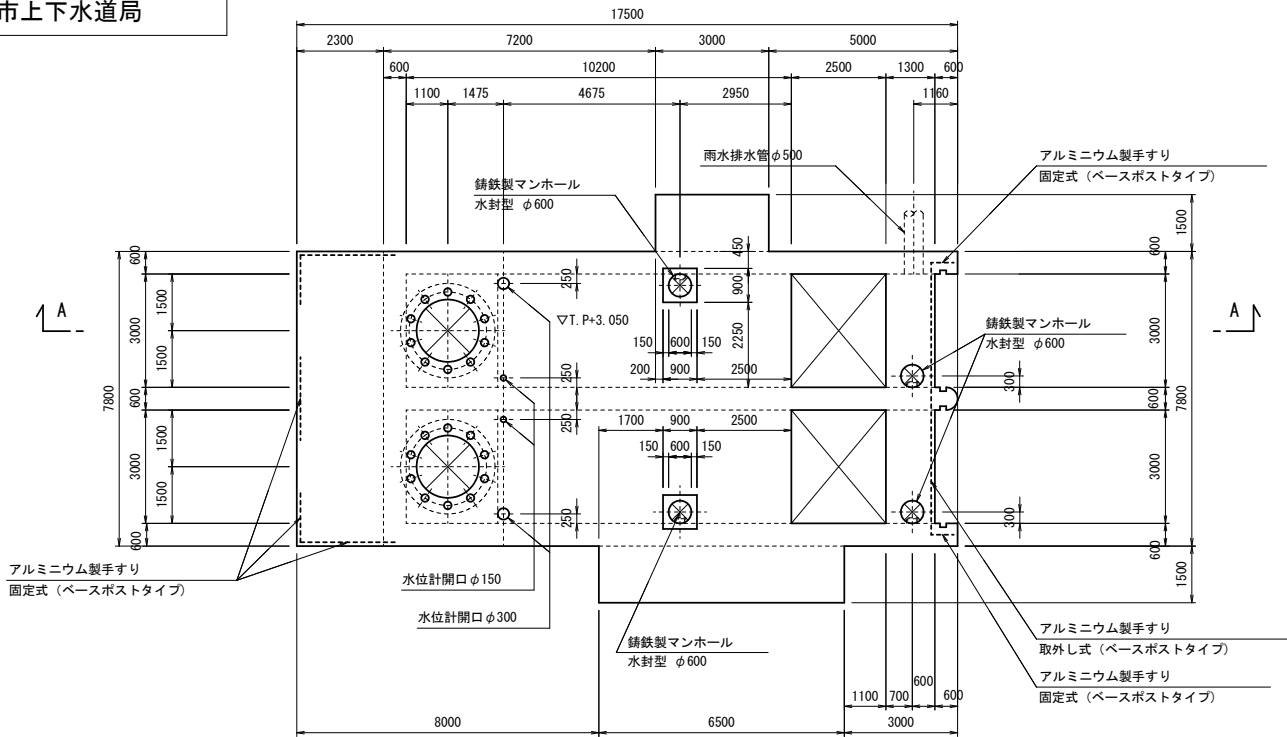
図面番号	6	縮 尺	図 示	
工 事 名	松永ポンプ場ポンプ増設工事（場内整備工事）			
種 別	ポンプ場構造図		番 号	
工事箇所	福山市松永町五丁目及び松永町六丁目地内			
設計年月	2025年8月			
福山市上下水道局				

原図サイズ：A1

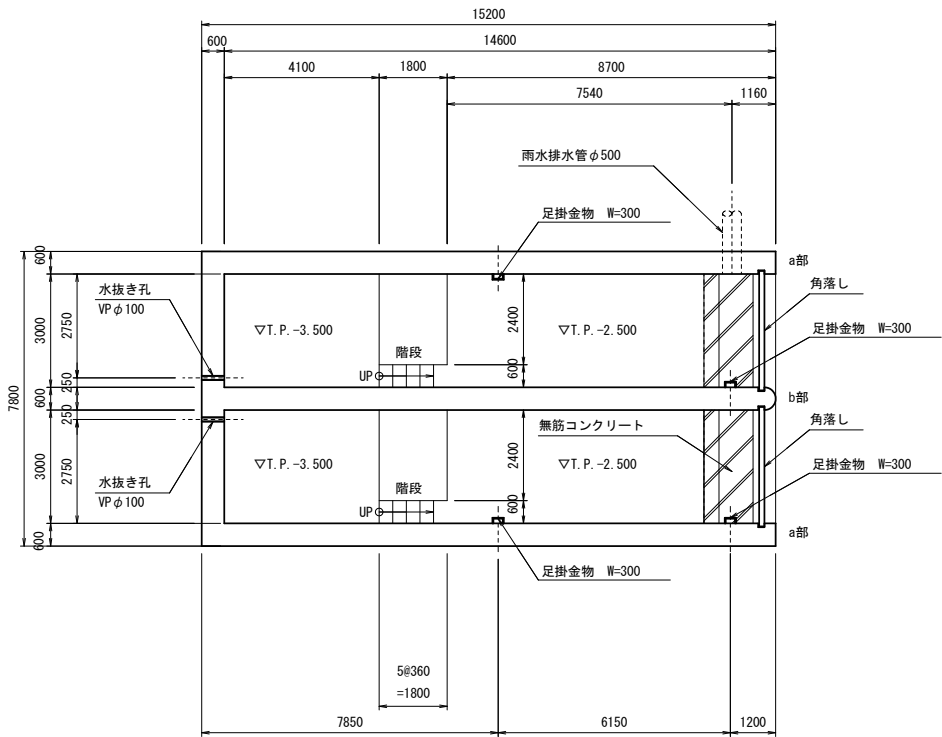
ポンプ場構造図

S=1/100

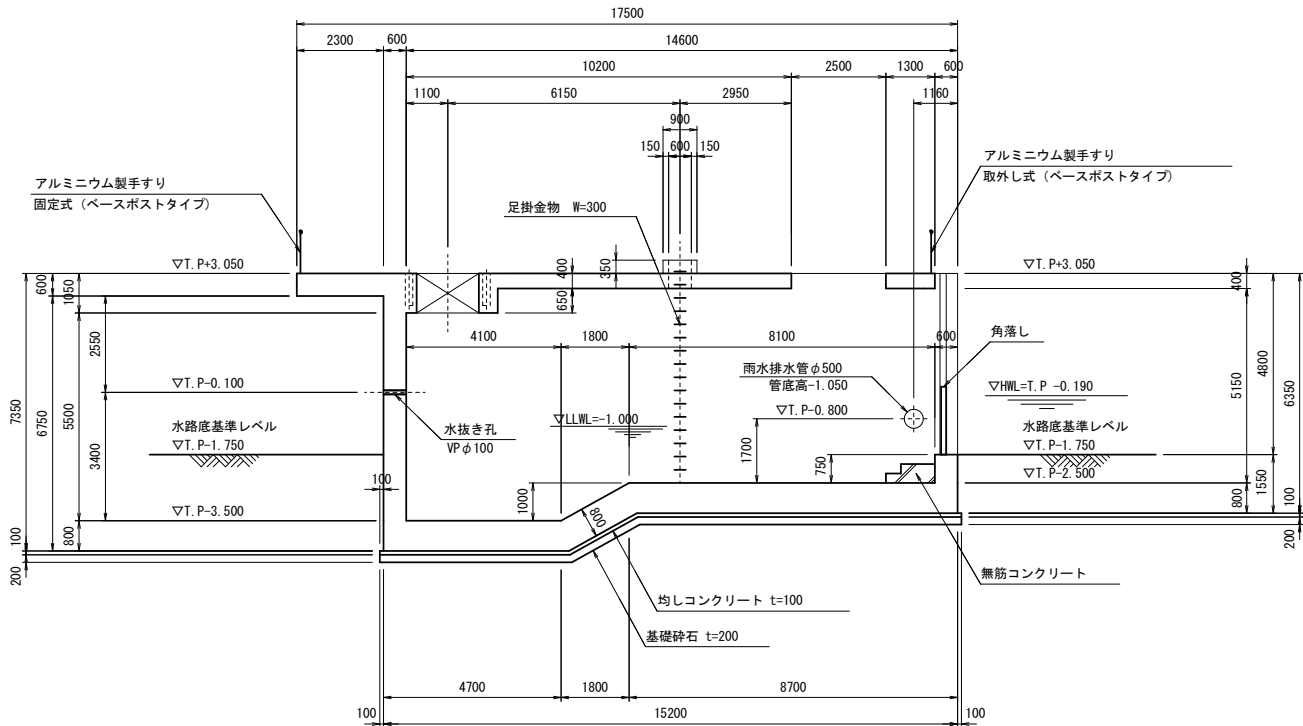
上部平面図



下部平面図



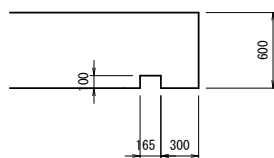
A-A断面図



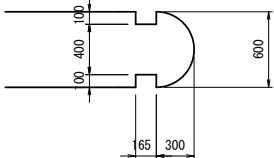
角落し受詳細図

S=1/30

a部 2箇所



b部 1箇所



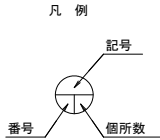
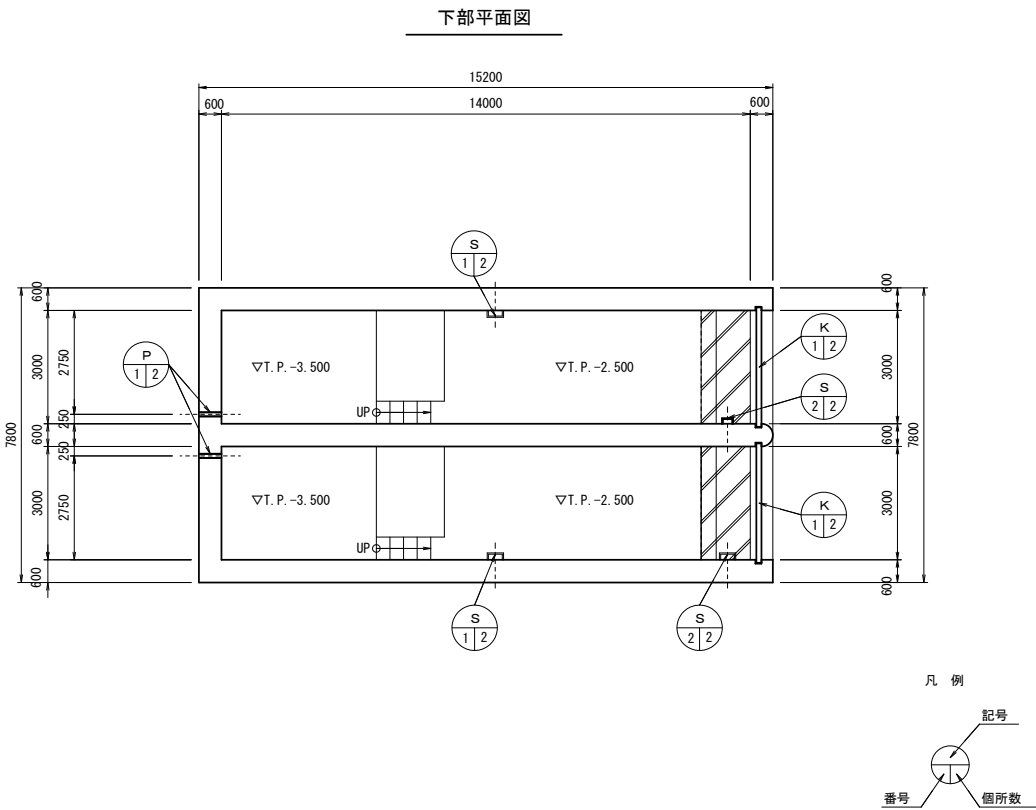
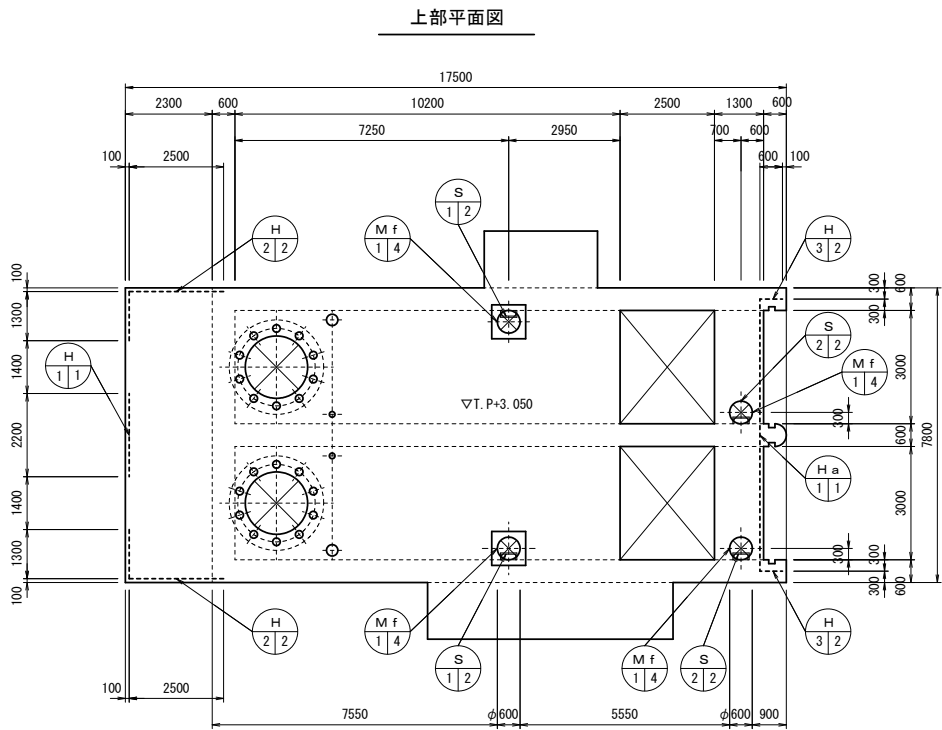
※本工事において、角落し（受枠除く）とアルミニウム製手すりを対象とする。
※角落しは、1組のみとする。

図面番号	7	縮 尺	1/100
工 事 名	松永ポンプ場ポンプ増設工事（場内整備工事）		
種 別	ポンプ場付帯工配置図	番 号	
工事箇所	福山市松永町五丁目及び松永町六丁目地内		
設計年月	2025年8月		
福山市上下水道局			

原図サイズ：A1

ポンプ場付帯工配置図

S=1/100



記号	名 称	備 考	今回工事	別途工事
M f	マンホール蓋	鋳鉄製 水封型 50kN φ600		○
K	角落し（合成木材製）		○	受枠
H	手すり（固定式一般部）	ベースポスト式	○	
H a	手すり（取外し式）	ベースポスト式	○	
S	足掛金物	W=300		○
P	水抜き孔	V P φ100		○

図面番号	8	縮 尺	—
工 事 名	松永ポンプ場ポンプ増設工事（場内整備工事）		
種 別	ポンプ場付帯工標準図(Ⅰ)	番 号	
工事箇所	福山市松永町五丁目及び松永町六丁目地内		
設計年月	2025年8月		
福山市上下水道局			

原図サイズ：A1

ポンプ場付帯工標準図（1）

手すり：アルミニウム製（参考図）

材料

1）材種は、JIS H4100によるA6063S-T5またはA6063S-T6またはA6061S-T6とし
押出し形材を使用する。

2）設計条件

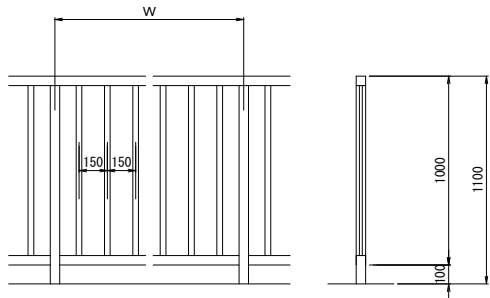
部材名	荷重方向	設計条件	
笠木	水平方向	設計耐力	1.5 k N/m
		たわみ量	500 N/mで1/500以下かつ5 mm以下 局部荷重500 Nで1/100以下
	垂直方向	設計耐力	1.0 k N/m
		たわみ量	500 N/mで1/500以下かつ5 mm以下 局部荷重500 Nで1/100以下
支柱	水平方向	設計耐力	2.7 k Nまたは3.0 k N
		たわみ量	局部荷重500 Nで1/100以下

3）表面処理は、公共建築工事標準仕様書（建築工事編）14.2.1表のB-1種とする。

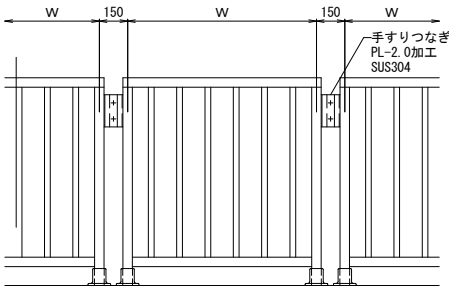
4）支柱、笠木、控柱には補強材は使用しない。その他の部位に使用
する補強材はJIS G3101によるSS400とし垂鉛めっきはJISH8610の
5級（クロメート被膜はJISH8625のCM2C）以上とする。

5）小ネジの類はステンレス製（SUS304、SUS305J1またはSUSXM7）とする。

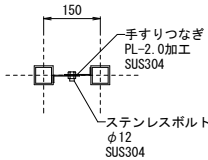
固定式一般部 姿図



取外し式 姿図



手すりつなぎ平面（参考）



取付・その他

1）形状

（単位mm）

	支柱間隔	笠 木	バラストー 中心間隔	高さ	下部の隙間	控柱
廊下・バルコニー	1,800 又は2,000	——	@150	1,000	100	——
屋 上	1,800 又は2,000	——	@150	1,000	100	φ3,600
階 段	1,500内外	——	@125以内	900	50	——
部 材 厚	3 mm以上	3 mm以上	——	——	——	3 mm以上

2）現場取付作業以外の組立などは工場製作とする。伸縮目地は必要に応じて設ける。

3）切断面の処置はバリ等を適切な方法で除去する。端部の小口は同材にてふたをして仕上げる。

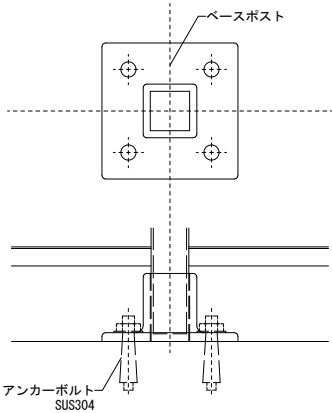
4）設計耐力及びたわみ量は、工場にて試験を行い監督職員に報告する。
なお、公的試験場の試験成績書をもって、これに代える事が出来る。

5）継手部、コーナー等は小口の面取りなど、安全対策を行う事。

6）多雪地域の屋外に設置する場合は、強度を検討する。

7）ベースポストの仕様は、製造メーカーの仕様によるものとし、設計耐力を満足するものとする。

柱脚詳細図



※仕様・納まりは製造メーカー仕様による

手すり(固定式一般部)リスト

記号	総延長 (m)	備 考
H-1	2.200	
H-2	7.600	
H-3	1.200	

手すり(取外し式)リスト

記号	総延長 (m)	備 考
Ha-1	7.200	

図面番号	9	縮 尺	—	
工 事 名	松永ポンプ場ポンプ増設工事（場内整備工事）			
種 別	ポンプ場付帯工標準図(2)		番 号	
工事箇所	福山市松永町五丁目及び松永町六丁目地内			
設計年月	2025年8月			
福山市上下水道局				

原図サイズ：A1

角 落 し：合成木材製

－4 選定表

厚み選定表（許容たわみ率より算定）

スパン/水深H	(単位：mm)															
	750	1000	1500	2000	2500	3000	3500	4000	4500	5000	5500	6000	6500	7000	7500	8000
1000	49	49	59	78	98	118	138	138	157	177	197	207	227	247	257	277
1500	49	49	69	98	118	138	138	157	177	197	217	237	257	277	297	317
2000	49	49	69	98	118	138	157	177	197	217	237	267	287	307	327	347
2500	49	49	78	98	118	147	167	197	217	237	257	287	307	327		
3000	49	59	78	118	138	177	177	197	227	247	277	297	327	347		
3500	49	59	98	118	138	177	187	207	237	267	287	317	347			
4000	49	59	98	118	138	177	197	217	247	277	307	327				
4500	49	59	98	118	147	177	197	227	257	287	317	347				
5000	49	69	98	138	147	177	207	237	267	297	327					
5500	49	69	98	138	177	217	247	277	307	337						
6000	49	69	98	138	177	197	217	257	287	317	347					
6500	59	69	98	138	177	197	227	257	287	327						
7000	59	69	118	138	177	197	237	267	297	327						
7500	59	69	118	138	177	207	237	267	307	337						
8000	59	78	118	138	177	207	247	277	317	347						
8500	59	78	118	147	177	217	247	287	317							
9000	59	78	118	147	197	217	257	287	327							
9500	59	78	118	147	197	217	257	297	327							
10000	59	78	118	177	197	227	267	297	337							
材質	(大枠内：比重＝0.5) 比重＝0.74															

仕 様

- 1) 合成木材は、ガラス繊維強化硬質発泡ウレタン
樹脂の材質を示す。

特記事項

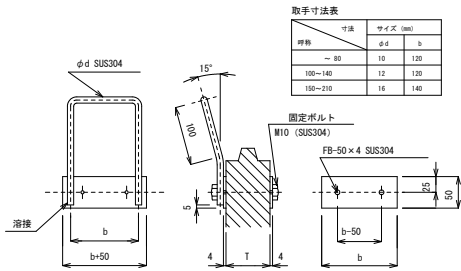
- 1) 角 落 し の 比 重

設計注意事項

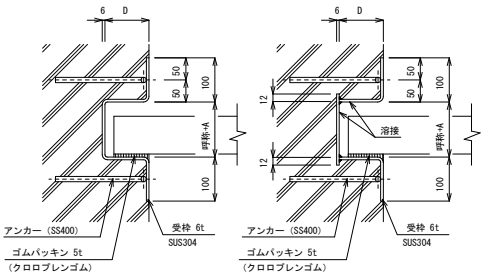
- 1) 許容たわみ量は1/200以下とする。
2) 浮力防止用クサビを、最上段部に使用する。

角 落 し：合成木材製取手及び受枠

－1 タイプ（Ⅰ）の場合



－3 受枠

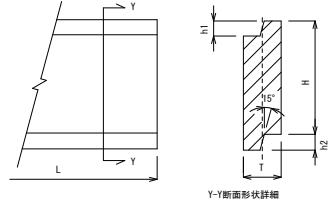


曲げ加工タイプ

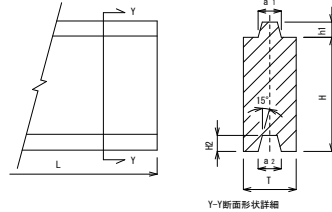
溶接タイプ

※受枠は、別途工事とする。

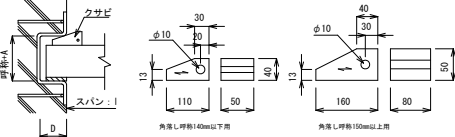
－1（厚み50mm）以下（タイプA）



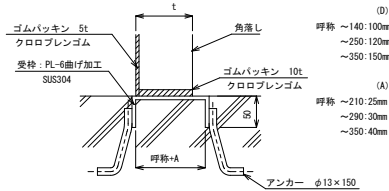
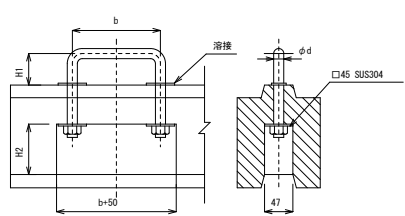
－2（厚み59mm）以上（タイプB）



－3 浮力防止用クサビ



－2 タイプ（Ⅱ）の場合



底部敷金物

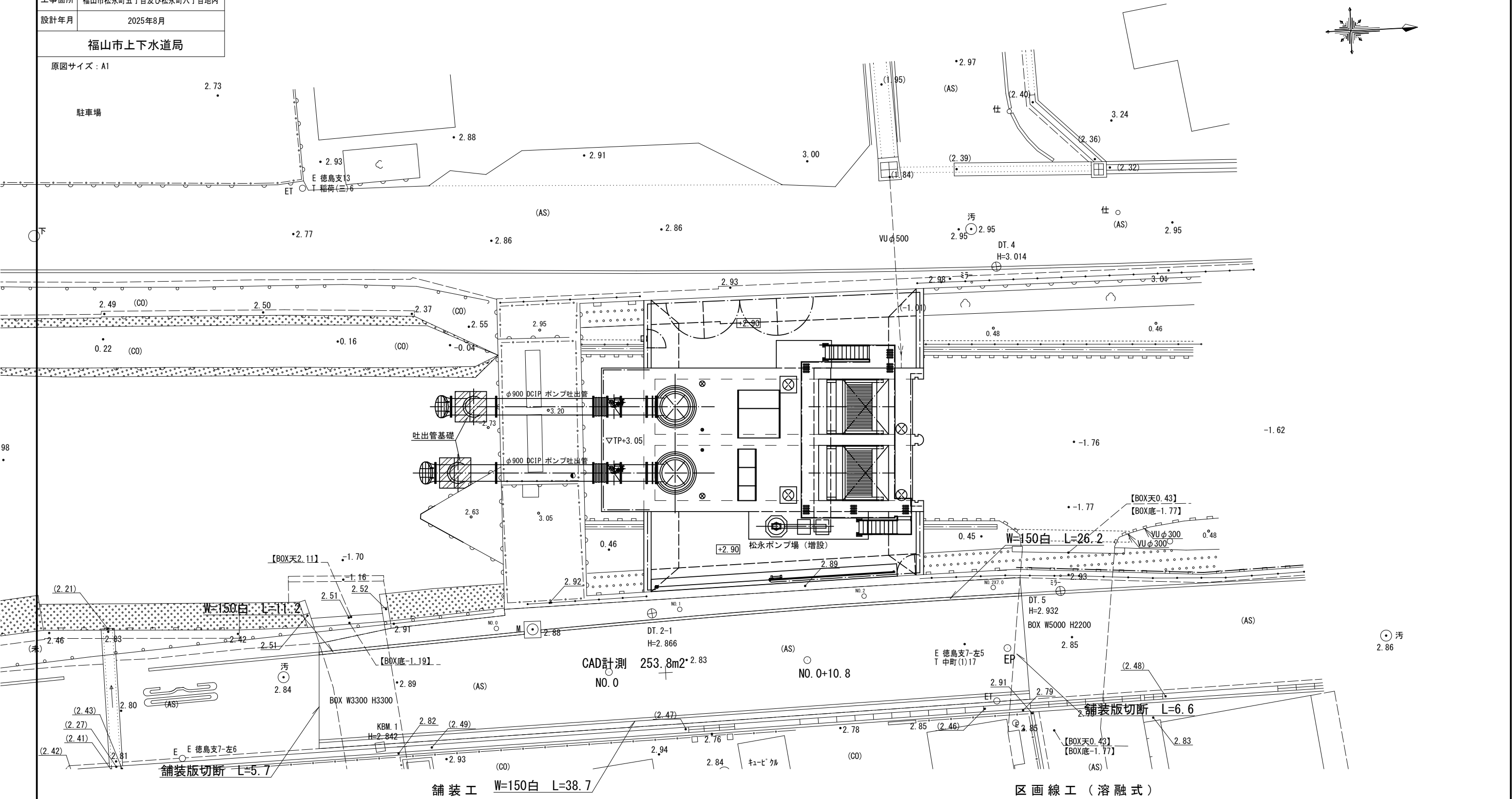
- (注) 1) 合成木材を貼り合わせ接合する場合は、エポキシ系接着剤を使用する。
2) 参考質量は、金具（引き上げ用取手）の重量を含まない。
3) 製品比重は、0.5及び0.74を標準とする。
4) 製品比重1.0は、比重換算用値（SUS製）を本体外に組み込み作製する。
5) 角落し厚み350mmを超える場合はスパン（Ⅰ）と水深（Ⅱ）より断度設計する。

記号	水路寸法 スパン (mm)	角落し寸法		板厚 T (mm)	受枠寸法 (mm)	箇所数	面積 (㎡)	備 考
		L (mm)	H (mm)					
K 1	3000	3160	1800	138	165	2	11.376	タイプB, 9分割(1枚あたりH=200), 比重0.5

図面番号	10	縮 尺	1/100
工 事 名	松永ポンプ場ポンプ増設工事（場内整備工事）		
種 別	舗装・区画線平面図	番 号	
工事箇所	福山市松永町五丁目及び松永町六丁目地内		
設計年月	2025年8月		
福山市上下水道局			

原図サイズ：A1

舗装・区画線平面図 1/100



舗装版切断	t=50	5.7+6.6	12.3m	実線	W=150白	11.2+26.2+38.7	76.1m
舗装版破碎		253.8	253.8m ²				
殻運搬・処理	平均t=50	253.8×0.05	12.7m ³				
不陸整正	補足材なし	253.8	253.8m ²				
表層	As(20) t=50	253.8	253.8m ²				

参 考 图 书

施工単価表

土砂等運搬
小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)
機械構成比: 26.52% 労務構成比: 61.90% 材料構成比: 11.58% 市場単価構成比: 0.00%

SPK25040002
DID区間有り 距離5.5km以下(4.5km超)

単第0 -0001 表
1
標準単価: 2,097.10000
m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	26.52%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00017T1 MTPT00017T1
運転手(一般)	61.90%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	11.58%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 小規模 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=26 距離5.5km以下(4.5km超)			B=5 バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3) D=2 DID区間有り		

施工単価表

頁0 -0002

大型引戸門扉基礎工

V000000100

单第0 -0002 表

1 箇所 当り

W=6,000 H=1,600

[illegible]

施工単価表

頁0 -0003

基礎碎石		SPK25040034		単第0 -0003 表	
碎石の厚さ7.5cmを超え12.5cm以下		碎石(各種)		1 m2 当り	
機械構成比: 5.33%		労務構成比: 78.32%		標準単価: 1,263.60000	
		材料構成比: 16.35%		市場単価構成比: 0.00%	
代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックハウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1~3,2011,2014	5.30%		バックハウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	37.64%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	15.90%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	14.75%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	9.49%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシャーラン RC-30	11.39%		再生クラッシャーラン RC-40		F0000017000 TTPT00008
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	4.93%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

頁0 -0004

基礎碎石

SPK25040034

单第0 -0003 表

碎石の厚さ7.5cmを超え12.5cm以下

碎石(各種)

1

m2 当り

機械構成比: 5.33% 勞務構成比:

78.32%

材料構成比: 16.35%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

1,263.60000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0005

コンクリート

SPK25040157

単第0 -0004 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB

機械構成比: 0.00%

労務構成比: 28.68%

材料構成比: 71.32%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価: 1 m3 30,615.00000

当り

代表機労材規格(積算地区)		構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)		単価(東京地区)	備考
普通作業員		12.85%		普通作業員			RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員		7.30%		特殊作業員			RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役		6.58%		土木一般世話役			RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)				その他(労務)			ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)		71.32%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%			TTPCD0010 TTPT00343
積算単価				積算単価			E9999
A=1	無筋・鉄筋構造物			B=3	人力打設		
C=2	18-8-40BB			F=2	一般養生		
H=2	現場内小運搬無し			J=1	-		
K=1	-(全ての費用)						

施工単価表

頁0 -0006

型枠
一般型枠
機械構成比: 0.00%

SPK25040159
均しコンクリート

単第0 -0005 表

1
標準単価:

m2 当り
5,104.70000

労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

代表機労材規格(積算地区)		構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)		単価(東京地区)	備考
型わく工		58.78%		型わく工			RTPC00010 RTPT00010
普通作業員		19.90%		普通作業員			RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役		6.07%		土木一般世話役			RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)				その他(労務)			ER009
積算単価				積算単価			EP001
A=1 C=1	一般型枠 -(全ての費用)			B=5	均しコンクリート		

施工単価表

頁0 -0007

コンクリート

SPK25040157

単第0 -0006 表

小型構造物 18-8-40BB

人力打設

1

m3 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比: 41.15%

材料構成比: 58.85%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

36,756.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	22.25%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.19%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	7.69%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	58.85%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=2 小型構造物 C=2 18-8-40BB H=2 現場内小運搬無し K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=1 -		

施工単価表

型枠
一般型枠
機械構成比: 0.00%

SPK25040159

単第0 -0007 表

小型構造物
労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

1
標準単価: 9,147.60000

m2 当り
9,147.60000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	44.28%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	30.82%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	11.86%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=2 小型構造物		

施工単価表

床掘り
土砂 上記以外(小規模)
機械構成比: 18.73% 労務構成比: 74.16% 材料構成比: 7.11% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1 m3 当り 2,247.40000

SPK25040015 単第0 -0008 表

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックハウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3	18.73%		バックハウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00083 MTPT00083
運転手(特殊)	40.26%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	33.90%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	7.11%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 E=1 -(全ての費用)			B=5 上記以外(小規模)		

施工単価表

頁0 -0010

メッシュフェンス片開き門扉基礎工（埋込み
W=1,000 H=1,800

V000000600

單第0 -0009 表

箇所 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0011

コンクリート削孔(コンクリート穿孔機)

SPK25040116

単第0 -0010 表

削孔径90mm以上100mm未満

削孔深さ200mm以上400mm未満

1

孔 当り

機械構成比: 3.06%

労務構成比:

65.10%

材料構成比:

31.84%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

7,053.20000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリート穿孔機 電動式コアボーリングマシン 簡易仕様型最大穿孔径 φ 25cm	1.62%		コンクリート穿孔機 電動式コアボーリングマシン 簡易仕様型最大穿孔径 φ 25cm		MTPC00093 MTPT00093
<賃>発動発電機(ガソリン発電機) 定格容量3kVA 低騒音	0.93%		<賃>発動発電機(ガソリン発電機) 定格容量3kVA 低騒音		KTPC00042 KTPT00042
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	38.55%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	10.44%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	5.27%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
ダイヤモンドビット 外径110.0mm,一般用 コンクリート削孔用	28.71%		ダイヤモンドビット φ 110mm		TTPC00235 TTPT00235
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	2.61%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014

施工単価表

頁0 -0012

コンクリート削孔(コンクリート穿孔機)

SPK25040116

單第0 -0010 表

削孔径90mm以上100mm未滿

削孔深さ200mm以上400mm未満

機械構成比: 3.06%

勞務構成比：

65.10%

材料構成比: 31.84%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：
1

孔 当り

7,053.20000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0013

メッシュフェンス片開き門扉基礎工
W=1,000 H=1,800

V000000200

單第0 -0011 表

1 箇所 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0014

埋戻し
土砂

SPK25040020
上記以外(小規模)

単第0 -0012 表

1
標準単価:

m3 当り
4,063.80000

機械構成比: 8.87%

労務構成比: 87.15%

材料構成比: 3.98%

市場単価構成比: 0.00%

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3	8.27%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00083 MTPT00083
タンパ及びランマ ランマ 質量60～80kg	0.60%		タンパ及びランマ ランマ 質量60～80kg		MTPC00048 MTPT00048
普通作業員	50.03%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	19.35%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	17.77%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	3.14%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.84%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001
A=5 D=1 上記以外(小規模) -(全ての費用)			B=1 土砂		

施工単価表

頁0 -0015

埋戻し

土砂

機械構成比: 8.87%

勞務構成比： 87.15%

上記以外(小規模)

材料構成比: 3.98%

市場単価構成比: 0.00%

單第0 -0012 表

1
標準単価：

m3 当り
4,063.80000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0016

メッシュフェンス両開き門扉基礎工

V000000300

單第0 -0013 表

1 箇所 当り

W=4,000 H=1,800

[illegible]

施工単価表

門扉
片開き
機械構成比：0.00%

SPK25040259
門柱高2m以下 埋込式
労務構成比：100.00%

材料構成比：0.00%

市場単価構成比：0.00%

単第0 -0014 表

1
標準単価：16,546.00000

基 当り
16,546.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	73.69%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	24.35%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 片開き C=1 -(全ての費用)			B=1 門柱高2m以下		

施工単価表

門扉
片開き
機械構成比：0.00%

SPK25040259
門柱高2m以下 基礎式
労務構成比：100.00%

材料構成比：0.00%

市場単価構成比：0.00%

単第0 -0015 表

1
標準単価：16,546.00000

基 当り
16,546.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	73.69%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	24.35%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 片開き C=1 -(全ての費用)			B=1 門柱高2m以下		

施工単価表

門扉
両開き
機械構成比：0.00%

SPK25040259

単第0 -0016 表

1
標準単価：39,696.00000

基 当り
39,696.00000

労務構成比：100.00%

材料構成比：0.00%

市場単価構成比：0.00%

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	76.79%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	20.30%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=2 両開き			C=1 -(全ての費用)		

施工単価表

頁0 -0020

メッシュフェンス基礎工

V000000400

單第0 -0017 表

H=1,800

1 箇所 当り

[illegible]

施工単価表

金網・支柱(立入防止柵)

基礎ブロック

機械構成比:0.00%

労務構成比:100.00%

材料構成比:0.00%

市場単価構成比:0.00%

標準単価:3,487.90000

SPK25040255

支柱間隔2m

単第0 -0018 表

1 m 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	90.31%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	8.88%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 D=1基礎ブロック -(全ての費用)			C=2 支柱間隔2m		

施工単価表

頁0 -0022

コンクリート舗装

V000000500

單第0 -0019 表

10 m2 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0023

基礎碎石

SPK25040034

単第0 -0020 表

碎石の厚さ12.5cmを超え17.5cm以下

RC-40

1

m2 当り

機械構成比: 5.04% 労務構成比:

74.10%

材料構成比: 20.86%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,335.60000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックハウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1~3,2011,2014	5.01%		バックハウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	35.62%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	15.04%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	13.95%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	8.98%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシャーラン 40~0mm	16.17%		再生クラッシャーラン RC-40		TTPC00008 TTPT00008
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	4.66%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

頁0 -0024

基礎碎石

SPK25040034

單第0 -0020 表

碎石の厚さ12.5cmを超え17.5cm以下

RC-40

機械構成比: 5.04% 労務構成比: 74.10%

材料構成比: 20.86%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：¹

m2 当り
1,335.60000

[illegible]

施工単価表

目地板
1工事当り使用量30m2未満
機械構成比：0.00%

SPK25040118
瀝青繊維質目地板 t=10mm
労務構成比：64.40%

材料構成比：35.60%

市場単価構成比：0.00%

単第0 -0021 表

1
標準単価：4,077.30000

m2 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	47.36%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	16.72%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
目地板 瀝青繊維質板 厚10mm	35.60%		瀝青繊維質目地板 厚さ10mm		TTPC00199 TTPT00199
積算単価			積算単価		EP001
A=1 1工事当り使用量30m2未満			B=1 瀝青繊維質目地板 t=10mm		

施工単価表

足掛金物取付工

S6578

單第0 -0022 表

頁0 -0026

1 本 当り

[illegible]

施工単価表

殻運搬
Co(無筋)構造物とりこわし
機械構成比: 40.77% 労務構成比: 44.82% 材料構成比: 14.41% 市場単価構成比: 0.00%

SPK25040155
DID区間有り 運搬距離10.9km以下(8.0km超)

単第0 -0023 表
1
標準単価: 2,053.80000

m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	40.77%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	44.82%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.41%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=44 運搬距離10.9km以下(8.0km超)		

施工単価表

大型土のう製作・設置(RTC設置)

SHD10005

単第0 -0024 表

10 袋 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.204	人			1*0.204
特殊作業員	0.204	人			1*0.204
普通作業員	0.204	人			1*0.204
耐候性大型土のう(2.0t用) 丸型,径110cm×長110cm 短期仮設対応(1年),令和5年改定基準適合品	10.000	枚			
機-28_バックホウ運転(賃料) C付2.9t吊_山積0.45m3_後方超小型旋回型	0.204	日			単第0-0025 表
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25t吊,オペレータ付 排1~3,2011,2014	0.204	日			
諸雑費	2	%			#09
*** 合計 ***	10	袋			
*** 単位当たり ***	1	袋			
A=4 耐候性(短期)大型土のう(R5改定基準適合品)			B=1 土砂の計上なし		

施工単価表

頁0 -0029

機-28_バックホウ運転(賃料)
C付2.9t吊 山積0.45m3 後方超小型旋回型

S9035

單第0 -0025 表

目 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0030

土砂等運搬
小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)
機械構成比: 26.52% 労務構成比: 61.90% 材料構成比: 11.58% 市場単価構成比: 0.00%

SPK25040002
DID区間有り 距離7.0km以下(5.5km超)

単第0 -0026 表
1
標準単価: 2,287.80000
m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	26.52%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00017T1 MTPT00017T1
運転手(一般)	61.90%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	11.58%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 小規模 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=31 距離7.0km以下(5.5km超)			B=5 バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3) D=2 DID区間有り		

施工単価表

頁0 -0031

大型土のう撤去

S1050057

單第0 -0027 表

設置作業半径 6mを超え20m以下

10

袋 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0032

現場発生品及び支給品運搬
クレーン装置付BT2t積2.9t吊
機械構成比: 13.79% 労務構成比: 83.40% 材料構成比: 2.81% 市場単価構成比: 0.00%

SPK25040411
片道運搬距離23.5km以下(20.0km超)

単第0 -0028 表
1
標準単価: 13,032.00000
t 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
トラック クレーン装置付 ベーストラック2t積吊能力2.9t	13.79%		トラック クレーン装置付 ベーストラック2t積吊能力2.9t		MTPC00154 MTPT00154
運転手(特殊)	42.15%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	41.25%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	2.81%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 C=17 クレーン装置付BT2t積2.9t吊 片道運搬距離23.5km以下(20.0km超)			B=2 DID区間有り		

施工単価表

頁0 -0033

据付・撤去工

SG1D0042002

單第0 -0029 表

現場 当日

[illegible]

施工単価表

ポンプ運転工

SG1D0042001

単第0 -0030 表

1 日 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
特殊作業員	0.11	人			
普通作業員	0.05	人			
工事用水中ポンプ損料	1	日			単第0-0031 表
発動発電機 ガソリンエンジン駆動 定格容量3kVA	1	日			
諸雑費	18	%			#09
*** 単位当たり ***	1	日			
A=1 作業時排水 C=1 ポンプ1台			B=2 発動発電機 D=1 普通型(潜水ポンプ) 口径50mm全揚程5m		

施工単価表

頁0 -0035

工事用水中ポンプ損料

SGAD0042001

單第0 -0031 表

1 日 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0036

樹脂アンカー
D13下向き

V000000700

單第0 -0032 表

1 本 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0037

コンクリート削孔(電動ハンマドリル)

SPK25040114

単第0 -0033 表

削孔深さ30mm以上200mm未満

1

孔 当り

機械構成比: 2.15% 労務構成比: 95.53% 材料構成比: 2.32% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 684.28000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>発動発電機(ガソリン発電機) 定格容量2kVA 低騒音	1.03%		<賃>発動発電機(ガソリン発電機) 定格容量2kVA 低騒音		KTPC00041 KTPT00041
その他 電動ハンマドリル 穴あけ能力 φ 38 ~ 40mm	0.72%		電動ハンマドリル 穴あけ能力 φ 38 ~ 40mm		MTPC00146 MTPT00146
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	45.54%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	18.55%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	13.59%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	1.89%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

頁0 -0038

コンクリート削孔(電動ハンマドリル)

SPK25040114

單第0 -0033 表

削孔深さ30mm以上200mm未満

1

孔 当り

機械構成比: 2.15% 労務構成比: 95.53%

材料構成比: 2.32%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

684.28000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0039

鉄筋工
SD345 D13

SS000099

單第0 -0034 表

一般構造物 [規]10t未滿

1 t 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0040

コンクリート

SPK25040157

単第0 -0035 表

無筋・鉄筋構造物 24-12-25(20)BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 3.50%

労務構成比:

34.96%

材料構成比:

61.54%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

36,531.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1~3,2011,2014	3.31%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	10.07%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	9.38%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	7.04%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	6.40%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度24,スランプ12,粗骨材20(25) W/C(55%),種別(高炉)	59.80%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPC00343 TTPT00343
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.65%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

頁0 -0041

コンクリート

SPK25040157

单第0 -0035 表

無筋・鉄筋構造物 24-12-25(20)BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 3.50% 勞務構成比:

34.96%

材料構成比: 61.54%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

36,531.00000

[illegible]

施工単価表

型枠
一般型枠
機械構成比: 0.00%

SPK25040159
鉄筋・無筋構造物
労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0036 表

1
標準単価:

m2 当り
10,100.00000

代表機労材規格(積算地区)		構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)		単価(東京地区)	備考
型わく工		46.66%		型わく工			RTPC00010 RTPT00010
普通作業員		25.14%		普通作業員			RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役		9.51%		土木一般世話役			RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)				その他(労務)			ER009
積算単価				積算単価			EP001
A=1 C=1	一般型枠 -(全ての費用)			B=1	鉄筋・無筋構造物		

施工単価表

手摺先行型枠組・単管・単管傾斜足場
手摺先行型枠組足場

S0380

単第0 -0037 表

100

掛m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.600	人			
とび工	7.000	人			
普通作業員	1.300	人			
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25t吊,オペレータ付 排1~3,2011,2014	1.400	日			
諸雑費	34	%			#09
*** 合計 ***	100	掛m2			
*** 単位当たり ***	1	掛m2			
A=1 手摺先行型枠組足場 C=0 潮待割増			B=1 安全ネットを設置しない		

施工単価表

頁0 -0044

舗装版切断

SPK25040307

単第0 -0038 表

アスファルト舗装版

アスファルト舗装版厚15cm以下

1 m 当り

機械構成比: 15.05%

労務構成比:

58.43%

材料構成比: 26.52%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

700.44000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッター バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm	10.24%		コンクリートカッター バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm		MTPC00164 MTPT00164
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	19.96%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	10.88%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	8.92%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッターブレード 自走式切断機用 径45cm(18インチ)	22.39%		コンクリートカッターブレード 径18インチ		TTPC00394 TTPT00394
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	2.81%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

頁0 -0045

鋪裝版切断

SPK25040307

單第0 -0038 表

アスファルト舗装版

アスファルト舗装版厚15cm以下

1

m 当り

機械構成比: 15.05%

勞務構成比：

58.43%

材料構成比: 26.52%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

700.44000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0046

舗装版破碎
アスファルト舗装版
機械構成比: 12.85% 労務構成比: 81.24% 材料構成比: 5.91% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 217.37000

SPK25040306 障害等無し 舗装版厚15cm以下

単第0 -0039 表 1 m2 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>後方超小旋回バックハウ(クローラ型) 山積0.45m3(平積0.35m3) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	12.85%		バックハウ(クローラ型) [後方超小旋回型] 山積0.45m3(平積0.35m3)		KTPC00066 KTPT00066
土木一般世話役	29.54%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	27.52%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	24.18%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	5.91%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 アスファルト舗装版 C=1 騒音振動対策不要 F=1 積込作業有り			B=1 障害等無し D=1 舗装版厚15cm以下 G=1 -(全ての費用)		

施工単価表

殻運搬
舗装版破碎
機械構成比: 44.05%

SPK25040155
DID区間有り 運搬距離10.5km以下(6.0km超)
労務構成比: 39.87%

単第0 -0040 表
材料構成比: 16.08%

1
標準単価: 3,615.90000

m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	44.05%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	39.87%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	16.08%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 舗装版破碎 C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=3 機械積込(騒音対策不要,舗装版厚15cm以下) D=42 運搬距離10.5km以下(6.0km超)		

施工単価表

頁0 -0048

不陸整正
補足材料無し

SPK25040234

単第0 -0041 表

1
標準単価： 174.53000
m2 当り

機械構成比： 21.58% 労務構成比： 71.86% 材料構成比： 6.56% 市場単価構成比： 0.00%

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m	17.28%		モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m		MTPC00176 MTPT00176
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10～12t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	2.16%		ロードローラ [マカダム]質量10t～12t		KTPC00047 KTPT00047
<賃>タイヤローラ 質量13～14t	2.14%		<賃>タイヤローラ 質量13～14t		KTPC00074 KTPT00074
運転手(特殊)	35.31%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	14.55%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	11.35%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	10.65%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	6.56%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001

施工単価表

頁0 -0049

不陸整正
補足材料無し

SPK25040234

單第0 -0041 表

1

m2 当り

機械構成比:	21.58%	労務構成比:	71.86%	材料構成比:	6.56%	市場単価構成比:	0.00%	標準単価:	174.53000
--------	--------	--------	--------	--------	-------	----------	-------	-------	-----------

[illegible]

施工単価表

頁0 -0050

表層(車道・路肩部)

SPK25040244

単第0 -0042 表

平均幅員3.0m超

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 1.38%

労務構成比: 10.17%

材料構成比: 88.45%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,808.70000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>アスファルトフィニッシャ(ホイール型) 舗装幅2.3～6.0m 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.88%		アスファルトフィニッシャ [ホイール型] 舗装幅2.3～6.0m		KTPC00060 KTPT00060
<賃>タイヤローラ 質量8～20t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.14%		タイヤローラ 質量8～20t		KTPC00007 KTPT00007
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10～12t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	0.13%		ロードローラ [マカダム]質量10t～12t		KTPC00047 KTPT00047
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	3.66%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	2.06%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	2.03%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	0.73%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

頁0 -0051

表層(車道・路肩部)

SPK25040244

単第0 -0042 表

平均幅員3.0m超

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 1.38%

労務構成比: 10.17%

材料構成比: 88.45%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,808.70000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(20)	80.70%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPCD0038 TTPT00284
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用	7.17%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.49%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=4 C=6 G=1 I=1 平均幅員3.0m超 再生密粒度アスファルト混合物(20) -(全ての費用)			B=50 E=2 H=1 1層当り平均仕上り厚(mm) PK-3 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)					

施工単価表

区画線設置(熔融式)
実線 15cm

VDT00001

単第0 -0043 表

76 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
区画線設置(熔融式) 実線_15cm	500	m			単第0-0044 表
トラフィックペイント(JISK5665_3種1号) 熔融型(紛体状)ガラスビーズ含有量15～18% 白	43.32	kg			
ガラスビーズ(JISR3301_1号) 粒度0.106～0.850mm	1.9	kg			
プライマー トラフィックペイント接着用	1.9	kg			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	3.04	L			
諸雑費	1	式			
*** 合計 ***	76	m			
*** 単位当たり ***	1	m			

施工単価表

頁0 -0053

区画線設置(溶融式)

SDT00001

單第0 -0044 表

1000 m 当り

実線 15cm

[illegible]

数量集計表（場内整備工）

[illegible]

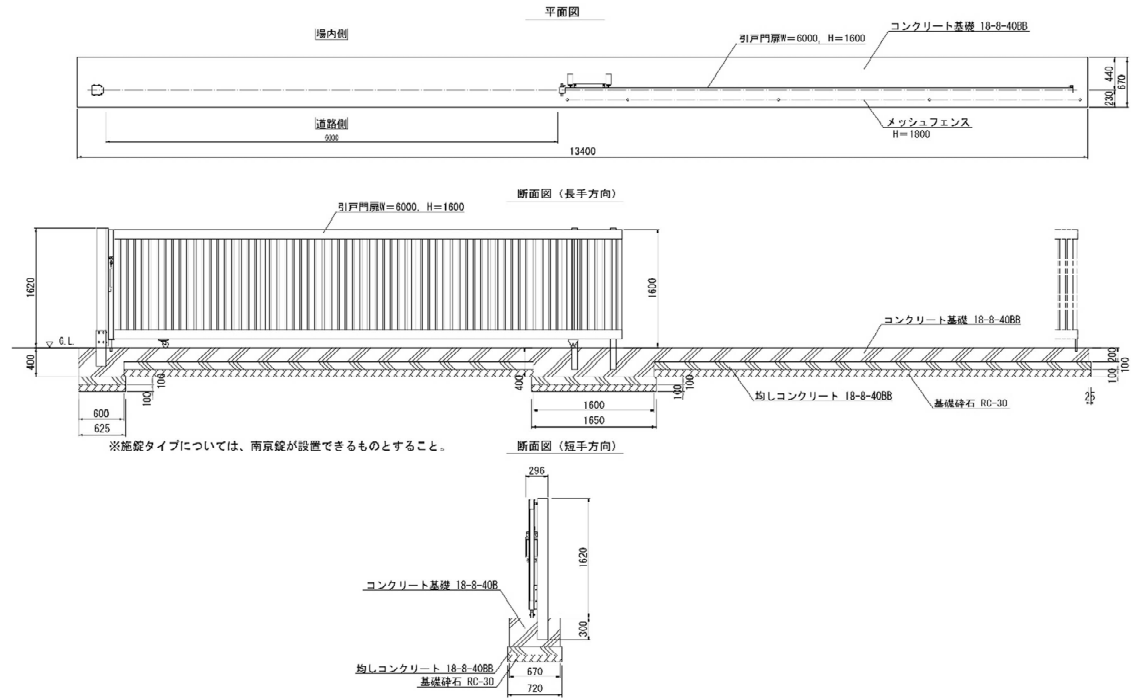
数量計算書(場内整備工)

名 称	形 状 寸 法	算 式	単位	
土砂等運搬	L=5.5km以下	$V = 1.28 + 0.06 + 0.21 + 0.01 \times 4 + 56.67$ (単位数量・数量計算書(吐出管基礎)参照)	58.26 m ³	58.3
残土処分	砂質土	$V = 58.26$	58.26 m ³	58.3
薄型車輪式引戸門扉	W=6,000, H=1,600 片引き門扉	$N = 1$ (単位数量参照)	1 基	1
メッシュフェンス片開門扉	W=1,000, H=1,800 片開き門扉	$N = 1$ (単位数量参照)	1 基	1
メッシュフェンス片開門扉	W=1,000, H=1,800 埋込式 片開き門扉	$N = 1$ (単位数量参照)	1 基	1
メッシュフェンス両開門扉	W=4,000, H=1,800 両開き門扉	$N = 1$ (単位数量参照)	1 基	1
メッシュフェンス	H=1,800, スパン2,000 埋込式	$L = 4.26 + 0.45 + 6.68 + 3.55 + 4.12 + 1.10 + 1.38$ (単位数量参照)	21.54 m	21.5
コンクリート削孔	φ90×300L	$N = 17$	17 孔	17
メッシュフェンス	H=1,800, スパン2,000 基礎式	$L = 3.01 + 7.81$ (単位数量参照)	10.82 m	10.8
フェンス基礎工	□180×450H	$N = 4$	4 箇所	4
コンクリート舗装	18-8-40BB t=150	$A = (3.69 + 4.30) / 2 \times 14.40 - 1.5 \times 3.0$ $A = (4.35 + 3.44) / 2 \times 14.40 - 13.40 \times 0.67 - 1.50 \times 6.50$	53.03 m ² 37.36 m ²	
		合計 (単位数量参照)	90.39 m ²	90.4

名 称	形 状 寸 法	算 式	単位	
目地板設置 (Co舗装外周に設置)	瀝青質目地板 t=10mm	$L = 3.69 + 4.30 + 14.40 \times 2 + 1.50 \times 2$ $L = 4.35 + 3.44 + 14.40 \times 2 - 0.67 \times 2 + 1.50 \times 2$ 合計 $A = 78.04 \times 0.15$	39.79 m 38.25 m 78.04 m 11.71 m ²	11.7
足掛金物	ポリプロピレン製 W=300 , 後付けタイプ	$N = 7 + 1$	8 本	8
殻運搬	無筋Co殻	$V = 0.045 \times 0.045 \times \pi \times 0.35 \times 2 + 0.045 \times 0.045 \times \pi \times 0.30 \times 17$	0.037 m ³	0.04
殻処分	無筋Co殻	$V = 0.037$	0.037 m ³	0.04

単位数量計算書（場内整備工）

名称：薄型車輪式引戸門扉



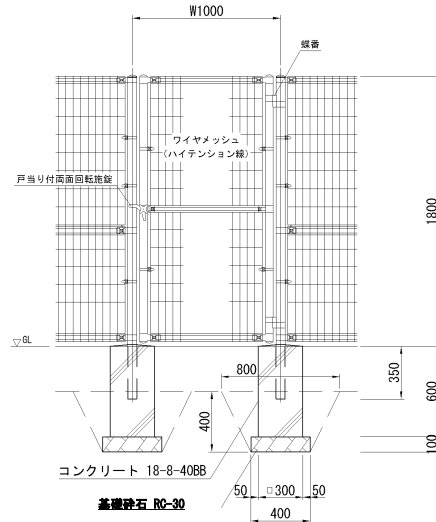
1基 当たり

名 称	形 状 寸 法	算 式	単位	
基礎碎石	RC-30 t=100	$A = (0.625 + 1.65 + (13.40 + 0.025 - 0.60 - 1.60)) \times (0.67 + 0.05)$	9.72 m2	9.72
コンクリート工	均しCo 18-8-40BB	$V = (0.625 + 1.65 + (13.40 + 0.025 - 0.60 - 1.60)) \times (0.67 + 0.05) \times 0.10$	0.97 m3	0.97
型枠工	均しCo	$A = (0.625 + 1.65 + (13.40 + 0.025 - 0.60 - 1.60)) \times 2 \times 0.10 + (0.67 + 0.05) \times 5 \times 0.10$	2.99 m2	2.99
コンクリート工	門扉基礎 18-8-40BB	$V = 13.40 \times 0.67 \times 0.20 + (0.60 + 1.60) \times 0.67 \times 0.20$	2.09 m3	2.09
型枠工		$A = (13.40 + 0.67) \times 2 \times 0.2 + (0.60 + 1.60) \times 2 \times 0.20 + 0.67 \times 1 \times 0.20$	6.64 m2	6.64
大型引戸門扉設置	W=6,000, H=1,600 (製品・据付共)	N= 1	1 基	1
床掘り		$V = (0.625 + 1.65) \times 0.72 \times 0.2 + (13.40 - 0.60 - 1.60 + 0.025) \times 0.72 \times 0.10 + (0.60 + 1.60) \times 0.67 \times 0.10$	1.28 m3	1.28
残土処分		V= 1.28	1.28 m3	1.28

単位数量計算書（場内整備工）

名称： メッシュフェンス片開き門扉

メッシュフェンス片開き門扉
W=1000、H=1800



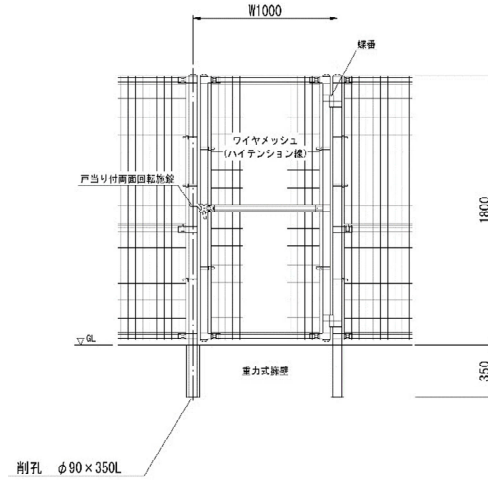
1基 当たり

名 称	形 状 寸 法	算 式	単位	
基礎碎石	RC-30 t=100	$A = 0.40 \times 0.40 \times 2$	0.32 m2	0.32
コンクリート工	門扉基礎 18-8-40BB	$V = 0.30 \times 0.30 \times 0.60 \times 2$	0.11 m3	0.11
型枠工	小型構造物	$A = 0.30 \times 0.60 \times 4 \times 2$	1.44 m2	1.44
片開き門扉設置工	W=1,000, H=1,800 (製品・据付共)	N= 1	1 基	1
床掘り		$V = (0.80 \times 0.80 + 0.40 \times 0.40) / 2 \times 0.40 \times 2$	0.32 m3	0.32
埋戻し		$V = 0.32 - (0.40 \times 0.40 \times 0.10 + 0.30 \times 0.30 \times 0.30) \times 2$	0.23 m3	0.23
残土処分		$V = 0.32 - 0.23 / 0.9$	0.06 m3	0.06

単位数量計算書（場内整備工）

名称： メッシュフェンス片開き門扉（埋込み式）

メッシュフェンス片開き門扉
W=1000、H=1800



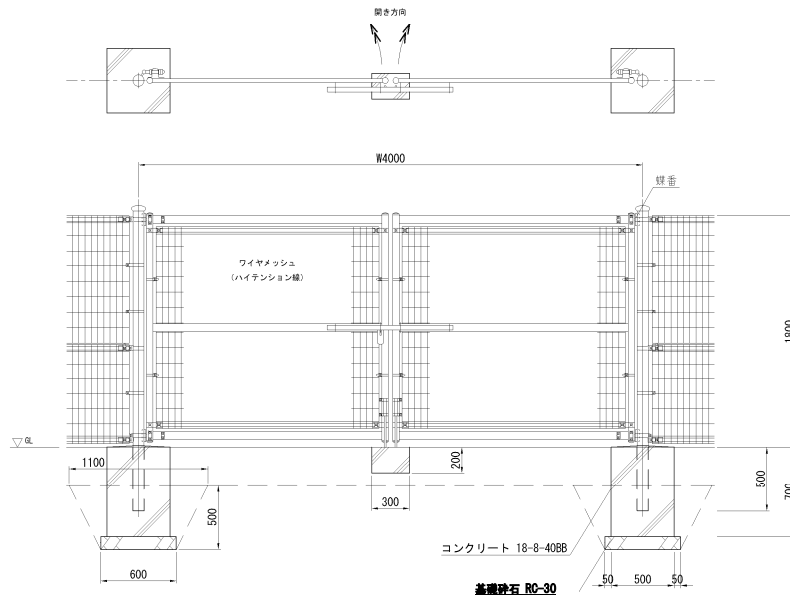
1基 当たり

名 称	形 状 寸 法	算 式	単位	
コンクリート削孔工	φ 90×350L	N= 2	2 孔	2
片開き門扉設置工	W=1,000, H=1,800 (製品・据付共)	N= 1	1 基	1

単位数量計算書（場内整備工）

名称： メッシュフェンス両開き門扉

メッシュフェンス両開き門扉
W=4000、H=1800



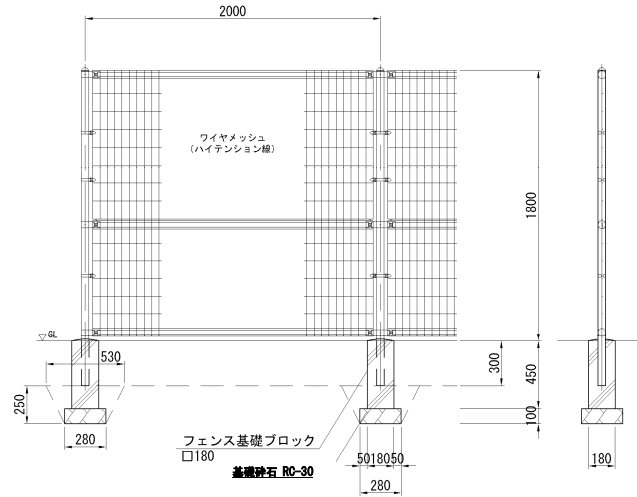
1基 当たり

名 称	形 状 寸 法	算 式	単位	
基礎砕石	RC-30 t=100	$A = 0.60 \times 0.60 \times 2$	0.72 m2	0.72
コンクリート工	門扉基礎 18-8-40BB	$V = 0.50 \times 0.50 \times 0.70 \times 2 + 0.30 \times 0.20 \times 0.20$	0.36 m3	0.36
型枠工	小型構造物	$A = 0.50 \times 0.70 \times 4 \times 2 + 0.30 \times 0.20 \times 2$ $+ 0.20 \times 0.20 \times 2$	3.00 m2	3.00
両開き門扉設置工	W=4,000, H=1,800 (製品・据付共)	N= 1	1 基	1
床掘り		$V = (1.10 \times 1.10 + 0.60 \times 0.60) / 2 \times 0.50 \times 2$	0.79 m3	0.79
埋戻し		$V = 0.79 - (0.60 \times 0.60 \times 0.10 + 0.50 \times 0.50 \times 0.40) \times 2$	0.52 m3	0.52
残土処分		$V = 0.79 - 0.52 / 0.9$	0.21 m3	0.21

単位数量計算書（場内整備工）

名称： メッシュフェンス

メッシュフェンス H=1800



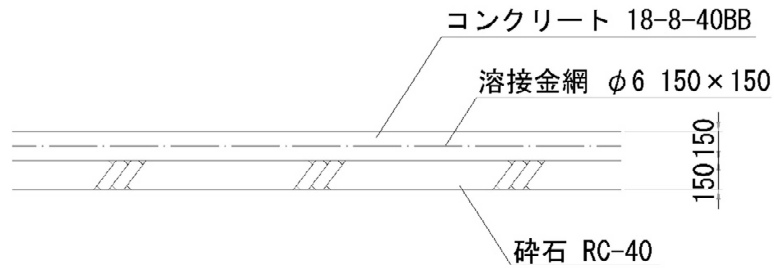
1箇所 当たり

名 称	形 状 寸 法	算 式	単位	
基礎砕石	RC-30 t=100	(基礎ブロックの場合) $A = 0.28 \times 0.28$	0.08 m2	0.08
フェンス基礎ブロック	□180×450	$N = 1$	1 個	1
フェンス据付工	H=1,800, スパン2,000	(埋込式、基礎ブロック共) 別途計上		
床掘り		(以下、基礎ブロックの場合) $V = (0.28 \times 0.28 + 0.53 \times 0.53) / 2 \times 0.25$	0.04 m3	0.04
埋戻し		$V = 0.04 - (0.28 \times 0.28 \times 0.10 + 0.18 \times 0.18 \times 0.15)$	0.03 m3	0.03
残土処分		$V = 0.04 - 0.03 / 0.9$	0.01 m3	0.01

単位数量計算書（場内整備工）

名称： コンクリート舗装

コンクリート舗装



10m2 当たり

名 称	形 状 寸 法	算 式	単位	
基礎砕石	RC-40 t=150	$A = 10$	10.00 m2	10.00
溶接金網	φ6 150×150	$A = (\sqrt{10} - 0.1)^2$	9.38 m2	9.38
コンクリート	18-8-40BB	$V = 10 \times 0.15$	1.50 m3	1.50

数量集計表（吐出管基礎）

[illegible]

数量計算書(吐出管基礎)

名 称	形 状 寸 法	算 式	単位	
大型土のう	制作・設置 ラフタークレーン	$N = 3 \times (9.50 + 6.40 - 1.50)$	44 袋	44
大型土のう	撤去 ラフタークレーン	$N = 44 + 24$	68 袋	68
購入土	処理土 (ほぐし土量)	$V = 44 \times 1.00$ 耐候性大型土のう 1 袋当たり体積 (ほぐし) 1.000m ³	44.00 m ³	44.0
土砂等運搬	購入土	$V = 44 \div 1.2$	36.67 m ³	36.7
土砂等運搬	砂質土	$V = 68 \div 1.2$ ※場内整備へ計上	56.67 m ³	56.7
残土処分	砂質土	$V = 56.67$ ※場内整備へ計上	56.67 m ³	56.7
廃プラスチック処分	耐候性土のう袋	$W = 68 \times 3 \div 1000$ 3.0kg/枚	0.20 t	0.2
樹脂アンカー	D13 下向き 削孔 φ 16 L=105	$N = (7+5) \times 2 \times 2$	48 本	48
鉄筋工	SD345 D13	別紙より		
コンクリート工	24-12-25BB	$V = (2.35 \times 0.90 + (1.75 + 2.35) \times 0.80 / 2) \times 1.65 \times 2$	12.39 m ³	
	控除	$V = (-\pi \times 1.25 / 4 / 2 \times 1.45) \times 2$	-1.42 m ³	
		計	10.97 m ³	11.0

名 称	形 状 寸 法	算 式	単 位	
型枠工	鉄筋構造物	$A = 2.35 \times 0.90 + (1.75 + 2.35) \times 0.80 / 2 \times 2 \times 2$	8.68	m2
		$A = 2.35 \times 1.65 \times 2$	7.76	m2
		$A = (1.75 \times 1.65 - (\pi \times 1.25^2 / 4 / 2)) \times 2$	4.55	m2
		計	20.99	m2
				21.0
足場工	枠組足場	$A = 2.35 \times 0.90 + (1.75 + 2.35) \times 0.80 / 2 \times 2 \times 2$	8.68	掛m2
		$A = 2.35 \times 1.65 \times 2$	7.76	掛m2
		計	16.44	掛m2
ポンプ排水工			式	1

数量集計表(付帯工1)

[illegible]

付帯工 1

1) 合成木材製角落し

記号	水路寸法		角落し寸法		箇所数 (個)	面 積 (m ²)	備 考
	W (m)	H (m)	W' (m)	H' (m)			
角落し：合成木材（呼称：140）					（角落し受枠：別途工事）		
K1	3.000	4.800	3.160	1.800	1	5.688	水深1.560m
計：						5.688	呼称140

(受枠参考寸法)

記号	受枠寸法 (m)		箇所数 (個)	受枠延長 (m)		備 考
	壁面受枠	底面敷金物		壁面受枠	底面敷金物	
角落し受枠（Bタイプ、呼称140用）						
K1	4.800	3.200	2	19.200	6.400	
			計：	19.200	6.400	呼称140用

2) アルミニウム製手摺り

記号	算式	延 長 (m)	備 考
(1) 固定式一般部（ベースポスト式）			
H1	2.20	2.200	
H2	(1.30 + 2.50) × 2	7.600	
H3	0.60 × 2	1.200	
(固定式一般部) 計：		11.000	
(2) 取外し式（ベースポスト式）			
Ha1	7.20	7.200	
(取外し式) 計：		7.200	

数量集計表（付帯工2）

[illegible]

＜松永ポンプ場＞吐出管基礎

※鉄筋は全てSD345とする

鉄筋重量総合計(kg)

D10	-
D13	224.194
D16	-
D19	-
D22	-
D25	-
D29	-
D32	-
D35	-
D38	-
D41	-
D51	-
計	224.194

圧接数総合計(箇所)

D19	-
D22	-
D25	-
D29	-
D32	-
D35	-
D38	-
D41	-
D51	-
計	-

集計表(1)

＜松永ポンプ場＞吐出管基礎

※鉄筋は全てSD345とする

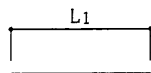
鉄筋重量総合計(kg)

D10	-
D13	224.194
D16	-
D19	-
D22	-
D25	-
D29	-
D32	-
D35	-
D38	-
D41	-
D51	-
計	224.194

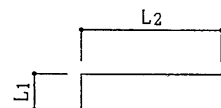
圧接数総合計(箇所)

D19	-
D22	-
D25	-
D29	-
D32	-
D35	-
D38	-
D41	-
D51	-
計	-

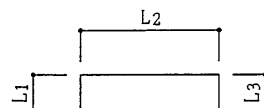
鉄筋形式表



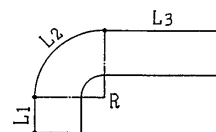
形式 A



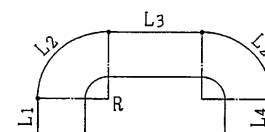
形式 B



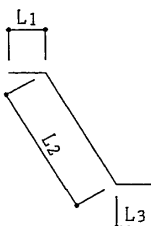
形式 C



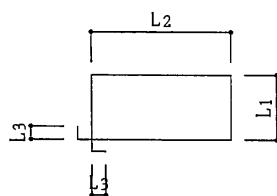
形式 D



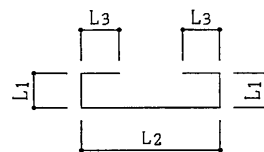
形式 E



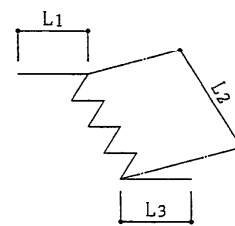
形式 F



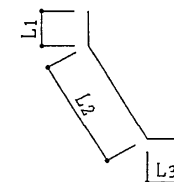
形式 G



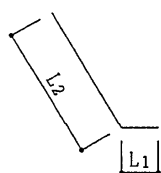
形式 H



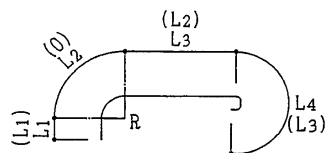
形式 I



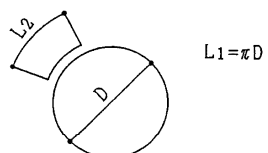
形式 K



形式 L



形式 M
(M1)



形式 O

$$L1 = \pi D$$

[illegible]

ページごとの集計

鉄筋 D(mm)	重 量 (kg)
D10	
D13	224.194
D16	
D19	
D22	
D25	
D29	
D32	
D35	
D38	
D41	
D51	
合計	224.194

圧接個数(ヶ所)

D19	
D22	
D25	
D29	
D32	
D35	
D38	
D41	
D51	